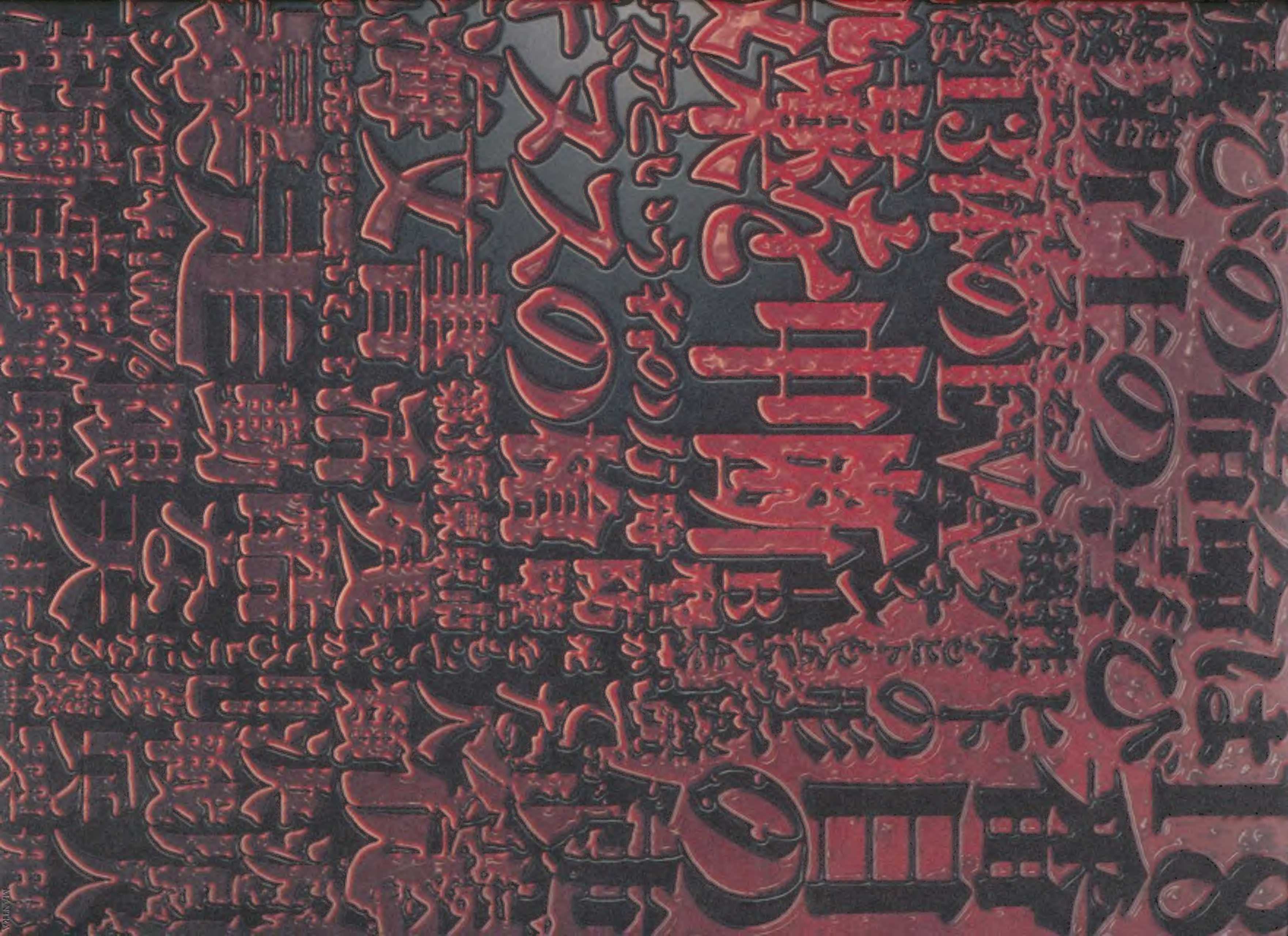
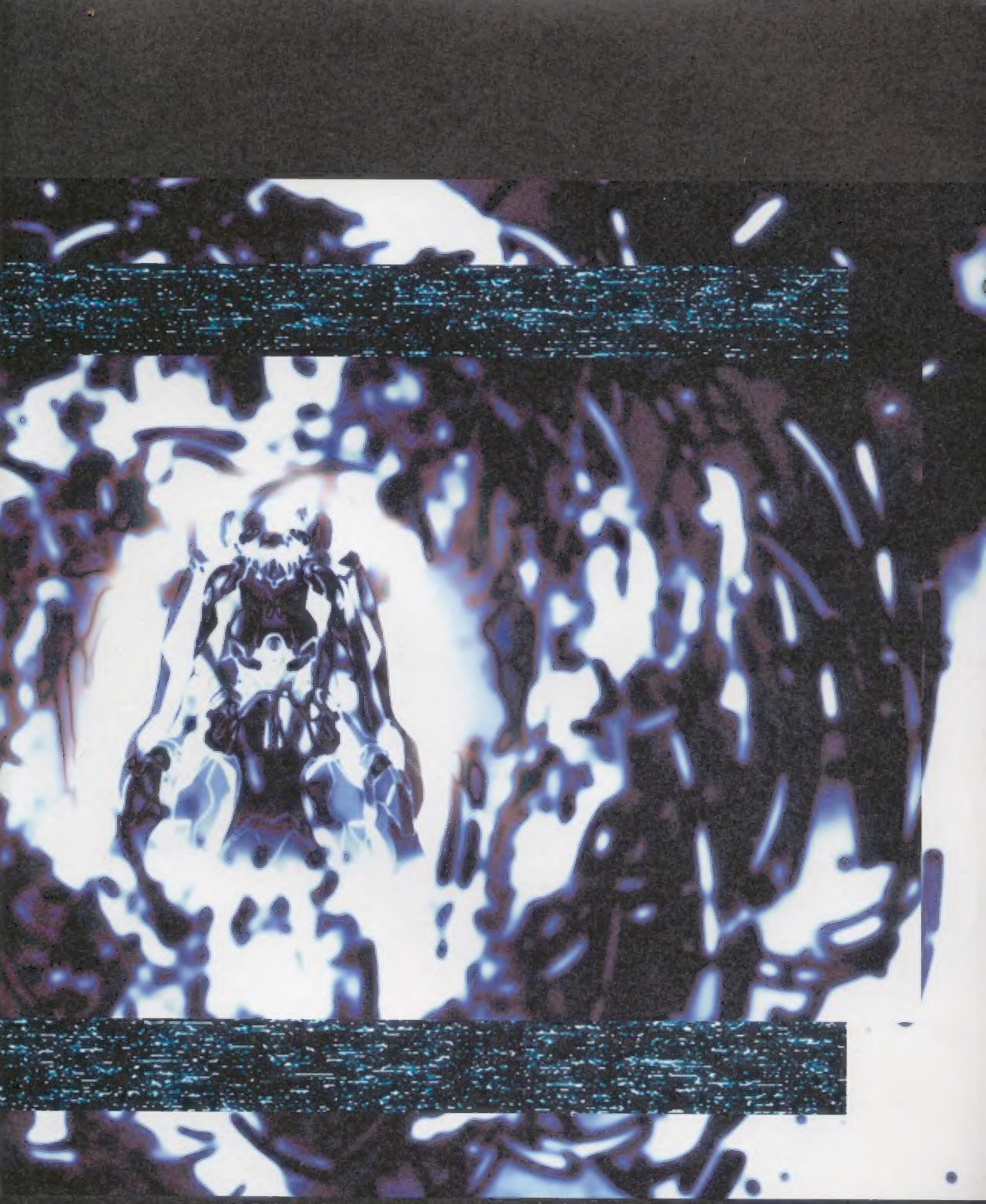
EVANGELION:DEATH

EVANGELION:REBIRTH



約束の時

おいしたばこするしかなかった
エイリアンよろしくな！
カラス2千枚の
地底湖水深70
人間
最大
ホラー
ID解放ロン
ヘイブリックの
三



THE END OF EVANGELION

新世紀エヴァンゲリオン劇場版 シト新生

MANTRA

解説

■平成7年10月から平成8年3月にかけて、TVアニメ『新世紀エヴァンゲリオン』は放映された。企画・原作・制作は『オネアミスの翼　王立宇宙軍』『トップをねらえ!』『ふしぎの海のナディア』等の作品で知られるGAINAX。このシリーズは企画段階から監督の庵野秀明を中心に進められており、作品の根本から末端まで、彼の個性で彩られていると言っていい。

■ハイクオリティな作画と、魅力的で多彩なキャラクター、魅惑的なSF設定、ダイナミックな戦闘シーン、キリスト教や精神分析学をドラマ本編に取り入れる衒学趣味、超高密度の情報量。『エヴァンゲリオン』は、そのどれをとっても従来のアニメの枠を越えた「新世紀」のタイトルに相応しい作品であった。多くのファンに熱烈に支持され、また、数多くの話題を生み出した。

■TVシリーズの中盤から、『エヴァンゲリオン』は「人の心」をテーマにするようになっていった。そして、そのクライマックス、第弐拾伍話「終わ

る世界」と最終話「世界の中心でアイを叫んだけもの」は、主人公達の内的宇宙で物語が展開するという実験的、かつ衝撃的な内容だった。テーマ的には充実したクライマックスだったと言っていいかもしれない。だが、それまで提示された謎の解決はほとんどなされる事はなく、物語としても未完のまま最終回を迎えたという印象が強い。

■この最終回も大変な話題となり、ある意味で『エヴァンゲリオン』の人気に拍車をかける事になった。ドラマの完結を、謎の解明を、あるいは新たな物語を、望むファンの声は強かった。その期待に応えるかたちで、映画版が企画される事になった。それが『EVANGELION DEATH AND REBIRTH』である。

■本作は『DEATH』と『REBIRTH』の2部構成である。『DEATH』は、TVシリーズの第壱話から第弐拾四話まで、すなわち、物語の発端からクライマックス直前までの内容に、多くの新作カットを加えて再編集した作品。

『REBIRTH』は、第弐拾伍話、最終話を新たな物語として描く「完結編」の第1弾。当初は、この『REBIRTH』のみで『エヴァンゲリオン』の物語が完結するはずであったが、制作を進めるうちに物語が膨らみ、今回は「完結編」第1弾のみの公開となった。『REBIRTH』と、本年夏に公開される予定の映画版第2弾で『エヴァンゲリオン』は完結する。

■『EVANGELION DEATH AND REBIRTH』では、総監督は庵野秀明、監督は摩砂雪、鶴巻和哉、制作はGAINAXと、TVシリーズを支えたスタッフが集結。アニメーション制作はPRODUCTION I.Gが担当している。

定刻―

壮麗

旧伊東沖遭遇戦

挿入

その9ヶ月前―

最終防衛線
陥落

頭部損傷

虐殺

恐慌

弦楽四重奏
練習開始十分三十秒前

局地戦

断末魔

プロダクションモデル
3号機

局地戦闘用

弦楽四重奏
練習開始二十分前

逆襲

拒絶

起動

弦楽四重奏
練習開始二十分三十秒前

沈黙

血路

彼は、星を見ていた。

ヴァイオリン
―第一絃

発進

我崩壊

ソニックグレイヴ
SG-01

THE BEAST

弾幕

PRODUCTION
MODEL
EVA-02

寄生

テストタイプ
初号機

JOHANN PACHELBEL

流血

近接戦闘

彼女は、男に抱かれていた。

突破口

畏怖

演奏練習開始
五分四十三秒前

PROTOTYPE
EVA-00

第三中学校講堂内

戦慄

飛翔

演奏練習開始時間

EVA-01
LIFT OFF

臨界

汎用ヒト型決戦兵器
人造人間
エヴァンゲリオン

精神汚染

TEST TYPE

模索

反撃

第一次直上会戦

プロダクションモデル
弐号機

第二次
ジオフロント攻防戦

絶叫

一刀両断

[redacted]

捕縛

回収

初出撃

演奏練習開始時間

散収

彼は、星を見ていた。

最終安全装置
解除

彼は、決断を迫られていた。

プログレッシブナイフ(改)
PK-02

パルス逆流

弦楽四重奏
練習開始二十二分前

苦痛

ヴァイオリン
―第二絃

降下

D型装備

苦悩

MANTRA

Illustrated by Yoshiyuki Sadamoto

EVANGELION:DEATH

死に至る病

臆病な魂。求める心。愛されたい。
碇シンジ。
彼が運命の地へと赴いたのは、奇しくも15年ぶりの使徒襲来と同刻だった。
父の命令。大人達の期待。負傷した少女。
「逃げちゃダメだ」
呪文の様に繰り返し、彼はエヴァに乗った。
出撃。暴走。戦闘。防衛。作戦。敗北。要撃。撃破。離脱。暴走。破壊。
使徒との戦闘が続く中、彼は様々な邂逅を果たす。
綾波レイ——包帯。謎。滄滄。気になる存在。お母さん。
惣流・アスカ・ラングレー——女の子。戸惑い。苦手。不可解。性。
葛城ミサト——大人。上官。お節介。軍人。家族。
碇ゲンドウ——冷蔵。司令官。嫌悪。怒り。父さん。父さん。父さん。父さん……。
多くの言葉が、視線が、感情が、彼に向かう。
だが、彼は暗い心の深奥に閉じ篭り、容易に姿を現さない。
暗闇の奥の方から、オドオドと見つめるだけ……。
だが、「好き」と云う言葉が、彼の闇を払った。
渚カヲル。フィフスチルドレン。優しい少年。
彼が、初めて心を開いた相手だった。
だが、カヲルの正体は使徒。人類の敵。ヒトならざる者だった。
裏切り。絶望。悔恨。怒り。
初号機を駆る彼は、錯綜する感情を絞り出し、カヲルを殺す。
初めて「好き」と云ってくれた相手を。
初めて心を開いた存在を。
自らの手で……。

I K A R I • S H I N J I

汚された心

高く脆い壁。張りつめた糸。必要とされない不安。
惣流・アスカ・ラングレー。
彼女は幼くして母を失った。
母は彼女の代わりに人形を愛で、心の中で彼女を殺した。
だから、彼女は強さを求めた。
誰にも負けない強さ。
一人でも生きていける強さ。
レゾンデートルと成り得る強さを。
そして、2015年。その強さを、周囲に喧伝する時が来た。
舞台は、第3新東京市。使命は、使徒を倒す事。
だが、そこには既に先達がいた。
碇シンジ。そして、綾波レイ。
二人は、自分より下位の存在でなければならない。
出撃。飛翔。勝利。活躍。戦果。達成。撃破。失策。敗北。後箱。喊首。
「バカシンジに負けるなんて」
プライドは崩壊し、彼女は逃げ出した。
だが、組織は彼女を連れ戻し、病室という名の、白い独房に幽閉する。
心を閉塞させたまま、彼女はシーツの内に眠る。
Nein ヤメテ Tod イタイ Schmach オカアサン erhängen
白い闇の中で、彼女が見る夢は苦い……。

SOHRYU • ASUHA • LANGLEY

涙

無感動な能面。夢を見ない女。
忠実な実行者。複数の中の単数。
綾波レイ。
生まれた時から、彼女は適格者だった。
彼女の14年はエヴァと共に在り、彼女の命は計画と共に在った。
そして、約束の年。彼女は、初めて自分以外の適格者に出会う。
碇シンジ。サードチルドレン。
同い年の少年。あの人の子供。
シンジの来訪は、同時に使徒の襲来を告げるものだった。
命令。遂行。命令。遂行。命令。遂行。命令。遂行。命令。遂行。
シナリオが進行する中、彼が、彼女を変える。
笑顔。心配。感謝の言葉。
それらはすべて、彼のため。
彼に向けた笑顔。彼が心配。
彼に云った「ありがとう」。
やがて、初めての涙とともに、彼女は気づいた。
「これは私の心、碇君と一緒になりたい」
しかし、心は伝わらぬまま、死が彼女を飲み込んだ。
再生と再会は早々。
再びシンジの前に、彼女が現れた。
だが、3人目の彼女は何も知らない。
シンジの事も。
自分の心も。
涙の理由も……。

AYANAMI REI

EVANGELION

EVANGELION 2014

01

ガ

デリオン

監督＝庵野秀明は、エヴァンゲリオンの完結に向け、現在も映画制作を続けている。そのため、現在、彼から多くの話を聞く事は出来ない。知りたい事はたくさんある。どのようにして、この作品が作られたのか。監督と作品の距離は。どのように隔てられていくのか。それについて考える事ができる最少単位人数。「彼」に、話を聞く事にしよう。

佐藤裕紀

とがあり、現在も「てっちょ」のニックネームで呼ばれている
964年12月26日生まれ　東京都出身

――まずは、GAINAXにおける佐藤さんの立場からうかがいましょうか。

佐藤　役職で言えば、広報部長です。

実際には、広報以外の仕事もしてらっしゃるわけですよね。

佐藤　そうですね。広報部という名前でやっているんですけども、宣伝・企画や商品化の窓口もやっています。他の会社だと、版権事業部にあたる仕事ですかね。

広報や商品化窓口と言っても、現場と本社という分かれた所でやっているわけじゃないです。ウチに関しては、アニメの制作も、ゲームの開発も、広報も距離が近い。皆が一蓮托生の会社ですから。どうしてそうなっているかというと、それはGAINAXという会社の成り立ちそのものと密接に関係してるんです。

――そもそも、アニメの自主制作のチームが母体になって、GAINAXは設立されたんでしたね（※1）。

佐藤　そうです。そのため今でも自主映画制作的な性格が強いと思います。ですから、「エヴァンゲリオン」がそうだったように「監督＝プロデューサー」であるという事が、この会社では普通なんですよ。そういう意味では、アニメの制作会社としては、他にあまりない体制になっています。1人の人間が、企画をして、売り込んで、作る。セルフプロデュースの音楽レーベルに近いでしょうか。

――そういった体質のメリットは？

佐藤　監督がやりたい事ができる、こだわりたいところにこだわって仕事ができる場であるという事でしょう。そういう作り方を「良し」とするフィールドというか、制作が諸般の事情で、途中で一旦お休みになったんです。その制作チームが解散になった時点で、庵野さんとしては「アニメーションを作りたい俺が、作れないのはなんでか？」という気持ちになっていたようなんです。実際には"ウル"以前から庵野さんに作品を作ってもらいたい、そのフィールドを我々が作ってあげたいと考えていて、「トップをねらえ！」の時にそうなった様に（※2）、庵野さんが気に入りそうな企画をいろいろ立案していたわけです。でもその時の企画は、庵野さんが自分の監督作品にしたいと思うようなものではなかったようなんですが……。

で、結局庵野さんが「蒼きウル」の制作が中断したという話をキングレコードの大月（後倫）さんにしたんです（※3）。大月さんは、庵野さんのがむしゃらな部分に惚れてたんでしょうね。「じゃあ、ウチが応援するから、やってみな」と言ってくれたんです。大月さんが「庵野さん、何をやりたいの？」と訊ねたら、庵野さんは「TVアニメがやりたい」と答えたんですよ。

大月さんはその頃、「BLUE SEED」だったのかなあ、別のプロジェクトを進行させていたんですよ。それは、作品そのものが商品（ソフト）になるTVシリーズを、何ヶ月分かを作りためておいてからTVで放送する。そして、放映後にビデオソフト化するという新しいやり方だったんです。そのやり方なら、制作期間も他のTVアニメよりも多くとる事ができる。庵野さんが好きなようにTVシリーズをやる事ができるよと、大月さんが言ってくれたのがそもそもの始まりだと聞いています。

そこで、庵野秀明のオリジナル作品で、GAINAXがTVをやるというかたちで企画がスタートしたわけです。で、GAINAXとしては庵野監督がやる以上、その作る場を全面的に提供します、というスタンスになったわけです。そのフィールドの中で庵野秀明個人が何をするか、という事になった時、自分の中のストックから「やっぱり、これかなあ～」と言って持ってきたアイデアがあって、それが「新世紀エヴァンゲリオン」の元になりました。

そのアイデアというのは『ふしぎの海のナディア』を作り終えた後に（※4）、次回作として、オリジナルビデオ用に考えていた物らしいんですよ。勿論、そのままやったわけじゃないですよ。ただ、その段階で既に、カプセルの中に入った女の子……本編ではエントリープラグになったわけですけど……のイメージと

鹿野秀明

佐藤裕紀 INTERVIEW

エヴァ

MANTRA

かロボットの心臓のところかな に乗っているキャラクター・とか、ミサトと主人公の関係の原型などがあったようです それを元に企画書を作ったんです

新世紀エヴァンゲリオン の制作は、当然、庵野さんが一番作りやすいシフトとして進んだわけですよね

佐藤 ええ、細かいところから大きい事まで、全部庵野さんが自分が納得して、はじめてOKになるというシステムになっています 副監督の摩砂雪さんや鶴巻さんをはじめ、この作品で庵野さんを男にしよう」という姿勢が周囲にありました 大月さんも「庵野さんがどんな作品を作ろうと構わん ただ、ヒットさせてくれ」とだけ言っていたそうです ヒットというのも、ただ、儲けるという作品じゃなくて、評価の高い作品を作ろうという事だったようです 「エヴァンゲリオン」は、庵野さんにとっても蒼きウル」が上手く進められなかった事に対する、カウンタ アタック的な意味もあったんでしょう 「今回こそ、やるぜ」的なものでしょうか

庵野さんは「一生懸命に作りたい、幸福になりたい、当てたい、男になりたい、GAINAXを成功させたい」と、いろんな考えがあって、この作品をスタートさせたんだと思います ひょっとしたら庵野さんのそんな想いが、強迫観念の塊のようなシンジ君が登場する第壱話を作るきっかけになったのかもしれません 「逃げちゃダメだ」という、ああいうキーワードが出てくるような、強迫観念を庵野さんが持つ事になったのかもしれませんね

TV版第壱話のシンジの「逃げちゃ、ダメだ」という気持ちは、庵野さんの気持ちとイコールだったかもしれないわけですね

佐藤 (笑) 第壱話を作っている時に、シンジ君がEVAに乗る理由が見つけられなかった時期があるんです 最初に書かれた脚本には、EVAに乗る事に関するシンジの葛藤がなかった様ですね ゲンドウに乗れと言われて、次のシーンにはもう乗っているみたいな感じだったんです 「逃げちゃ、ダメだ」というキーワードは、かなり後になって入れられたんですよ 絵コンテを見るとそのシーンのト書きには「このセリフをひたすら繰り返す 7回くらいか？ 死ぬまでか？」とあるんです それを見たときに、僕は思ったんですよ それは庵野さん自身が感じている強迫観念なんじゃないか、その時に作ってる庵野さんの気持ちとシンジの気持ちが、まさにシンクロしたんじゃないか

今にして思えば、庵野さんが絵コンテにそれを書いた時に 新世紀エヴァンゲリオン」という作品の、本質が形になったのかなあと思いますね

庵野さんの人格や感情が、シンジ君に反映されているというわけですね その後も、EVAに乗ったシンジ君は、乗った理由を作中でずっと考えるわけですよね

佐藤 いきなり、逃げ出したりもしますしね 痛い目に遭ったりもするし、EVAに乗ってゲンドウに誉められて、「よかった」と思ったりする それに関しては本当に、「シンジ＝庵野秀明」なんです 「逃げ出したいと思った庵野さん」や「ミサトやゲンドウに、誉められた庵野さん」等といろんな現実におけるファクターがあって、そういったシンジの描写になっているんだと思います

自問自答を繰り返しつつ、シンジ君は、やっぱりEVAに乗りたくなくなったり、決別しかけたり、でもやっぱり、加持に言われて乗ったり、乗ったまま帰ってこれなくなったりするわけですよ そういった事も、その時その時に庵野さんの、「エヴァンゲリオン」という作品に対する気持ちがシンジ君に反映されているんだと思いますよ 第壱話がそうなら、TV版の最終回も、今回の映画もそうでしょう

ミサトさんも言ってますからね、EVAに乗ってしまったから、今のあなたがいるのよ」って それは、「エヴァンゲリオン」を作ってしまったから、今の庵野秀明がいる」という意味なんですね

佐藤 自分でそういうセリフを、キャラクターに言わせちゃうわけですね キ

ャラクターが碇シンジに対して言う言葉というのは、庵野さんにとって、自分がシンジに対してぶつけたい言葉である、自分が誰かに言ってもらいたかった言葉なのかもしれませんね。

シンジの気持ちが庵野さんの気持ちであり、それと同時に、他のキャラクターのシンジへのセリフもまた、庵野さんの言葉である？

佐藤　そうそう。庵野秀明自身は碇シンジであると同時に、作品世界を造る作家でもあるわけですよ。自分が他人に言いたい事と、自分に対して言ってやりたい事の両方が作品に入っているのでは？そして、その両方の部分がまとまりなく表現されているのかもしれません。でも、それが「新世紀エヴァンゲリオン」なんです。

ロボットアニメとしての描写なんですか　最初はあんなにコッテリしていた描写が、シリーズ後半になると、どんどんウエイトが軽くなっていきましたよね。

佐藤　これは、僕の一個人としての意見ですけど……、庵野さんが「エヴァンゲリオン」を単に良くできたロボットアニメとして作るのは簡単だったと思うんですよ。それに関しては庵野さんは天才ですからね。自惚れも込みで、ロボットアニメに関しては、自分が世界一だと思っていたと思います。「エヴァンゲリオン」を作りながら、「ロボットアニメなら、もう、目つぶってても出来るわ」と思ったかもしれません。

その一方で「俺にとってのテーマって何だろう？」という問題が出てきたのでは？　富野由悠季さんみたいな「世界における人間の役割みたいなもの」とか、「男と女とは」とか、「家族とは」とか、あるいは宮崎駿さんが持っている「永遠の冒険心」みたいな、その作家ならではのものってありますよね。庵野さんは、自分にとってのそういうものって何だろうって考えたのでは。それで「自分のテーマは『自分』しかない！」と思ったのでしょう。そういった方向で作り始めると、どんどん作品が、そっちの方へ膨らんでいってしまった。シンジ君の自己探求がどんどん強くなってしまった。その結果、ロボットアニメのウエイトがどんどん軽くなってしまった、と考えられますね。

物語がシンジの自己探求の方へ流れていってしまった。スタッフの方も驚かれたでしょう。

佐藤　観客以上に、「なんなの、コレ？」って思った者もいると思います。庵野さんがそうなるであろう事を知りつつ、参加した摩砂雪さん、鶴巻さん、そういう庵野さんである事を理解してキャラクターデザインとして参加した貞本さんは「なるほど、なるほど、こう来ましたか」と思いながら成りゆきを見ていたんだと思います。TVシリーズの後半では、二人の監督は庵野さんのそういう方向性を理解しつつ、ドラマチックな部分を作ったり、SF的な解釈を用意したりしました。庵野さんがそういう設定はどうですか、と鶴巻さんが用意したり、「庵野さんはそう言うけどさあ、やっぱりノリ、テンポだよ」みたいな感じで、アクションてん」盛りの演出をする摩砂雪さんがいたりとかですね。

そして結局、作品を作りながら自分を探す旅に出てしまった庵野秀明は何を見たのか。その心情は、第弐拾四話で焼け野原になった第3新東京市を見て「何もなくなってしまった」ってポツンとつぶやくシンジ君とシンクロしているのかもしれません。それでは、そこで出会ったカヲル君とは、誰なのか。もう一人の自分なのか。

企画段階で予定されていたカヲル君の役割というのは、ああではないんですよね。

佐藤　企画の段階では、人間型の敵（使徒）は、使徒に操られる人形になるはずでしたからね。

――でも、TV版ではカヲル君は、心の救済をしてくれる相手になっていますよね。

佐藤　優しくて、一緒にお風呂に入って、一緒に寝てくれるカヲル君というのは、自問自答して、自分の言葉に対して回答を出してくれる、いわば許しを与えてくれる二人目の庵野秀明なのかなあ、と僕は思っているのですが。

悩んでいる庵野さんと、悩んでいる自分に疑問を投げかける庵野さん。そして、その疑問に答えてくれる庵野さん。でも、シンジは、カヲル君をグチャっと。

佐藤　自分で自分を潰してしまう。

――希望を消去したという事ですかね。

佐藤　潰してしまうことで。

――でも、カヲルは「滅びを選ぶ」というような事を言っていますよね。それをどう考えればいいのかなあ。

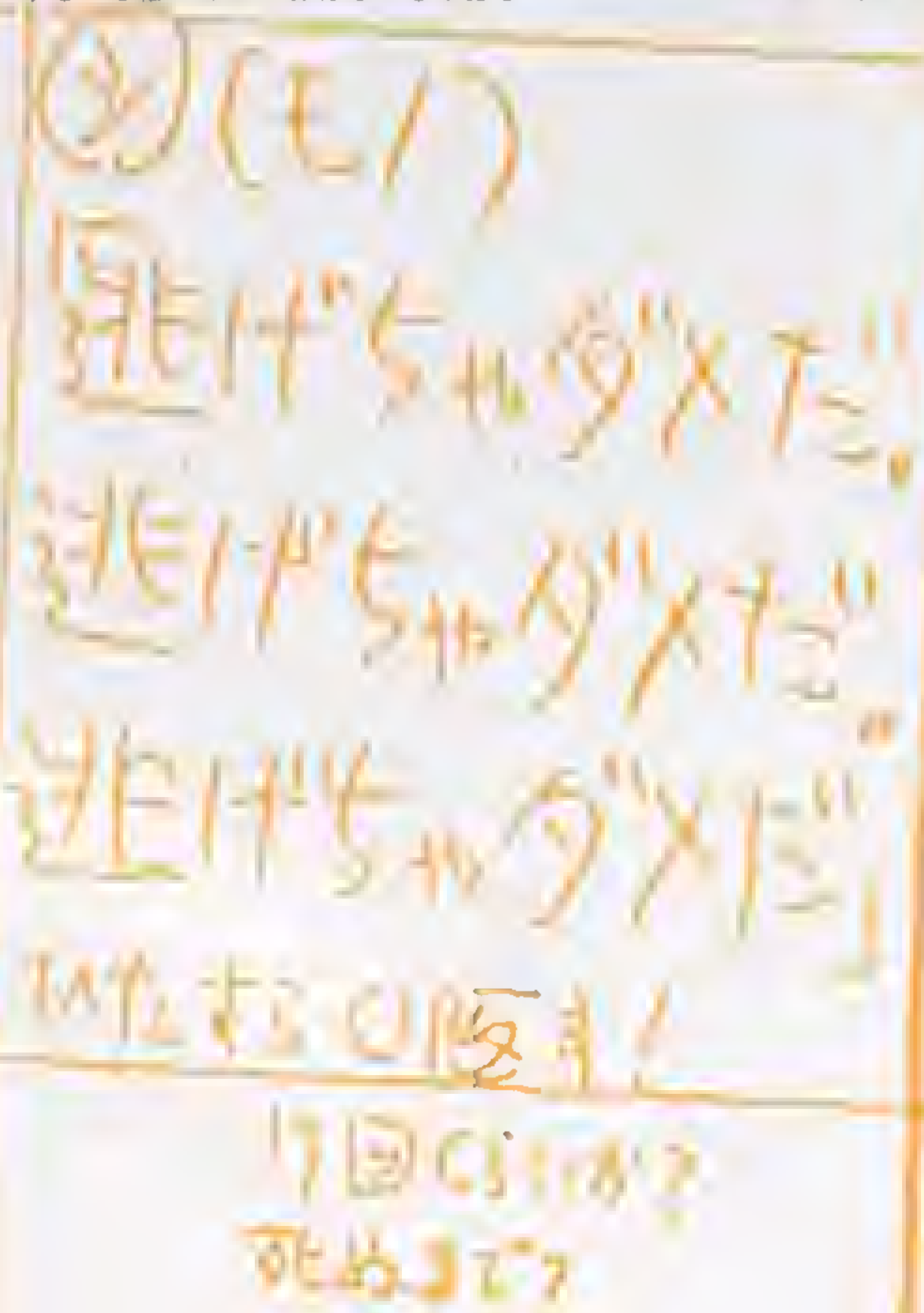
なるほど。

佐藤　よく、「新世紀エヴァンゲリオン」って、何なんですかねえ」と聞かれるんですが、「イコール庵野秀明でございます」としか言いようがないんです。庵野さんにとってGAINAXが何かと言えば、それを作る場であったり、ネルフだったり、シンジ君をかくまう人であったり、無理に仕事をさせようとするコワいおっちゃんなのかもしれない。ゲンドウのキャラクターを庵野秀明になぞらえる人がよくいるんですけども、それは違うと思うんです。庵野秀明の人格はゲンドウにはあまり投影されていないと思うんですよ。

――そうなんですか。

佐藤　ゲンドウはシンジに対して、「逃げちゃダメだ」という強迫観念を与える存在であって、それはイコール庵野秀明の超然とした部分であるはずだったのに、TV版の途中からゲンドウは影が薄くなっちゃうでしょ。

ゲンドウが登場しないで、話が進


逃げちゃダメだ
逃げちゃダメだ
逃げちゃダメだ

むことも多いですね。

佐藤　それは結局、庵野秀明の中にゲンドウはいなかったということなのかな、と思うんです。

――庵野さんって、制作を始めた頃は「『新世紀エヴァンゲリオン』は父権だ！」とか、「これからは強い男だ！」みたいなことを言っていたそうじゃないですか。

佐藤　言っていましたね。ゲンドウのキャラクターは、そこがポイントだったわけですから。

――「父権」が強い世界は第壱話が一番強くて、その後、どんどん無くなっていく。

佐藤　結局、自分自身が一番欲しいものとして、それを作品の中で作りたいと思ってやったんですけれど、作ってる自分の中にそれがない以上は、結局、それは渇望でしかなかったという事かもしれませんね。

――初めの頃は、そういうモードでやろうとしてたから、村上龍の小説から、キャラクターの名前をとったりしていたわけですよね（※5）。

佐藤　それに関しては、さっきお話した「着きウル」も影響してるのかな、と思います。「着きウル」は「カッコイイ男ってなんだろう」「これからはカッコイイ男を描かなければいけないんではないか」という企画だったんですよ。バブルで世の中が浮かれているときに、「これからはリリシズムで生きる、ストイックで濃い男が必要なのでは？」というものだったんです。結局、バブルが崩壊して、カッコイイどころじゃなくなったんだけど。当時、庵野さんはそういう部分から離れづらかったのかもしれません。

「カッコイイ男」というテーマも、庵野さんにとっての強迫観念のひとつだったのか。「アニメを作る俺って、カッコイイのか、カッコ悪いのか」とか考えながら。アニメを作るなんて、あまりカッコいい事ではないのか？　そういうカッコ悪いのかもしれない自分が、カッコよくなるためには、厳しいスパルタなオヤジが要るのか、自分がスパルタになるのか。あるいは、悩みながらもがいていくのか。よく分からないけど作る事にしよう。そういうところから庵野さんの「新世紀エヴァンゲリオン」は始まっていったのかもしれません。それを作る以上、自分を責めるオヤジが要る、スパルタが要ると思ったんだけど、出来なかったのかもしれない。そういうジレンマが他の人に比べて、すぐに作品に出るから（笑）。

出ますねえ。ウソつきませんね、そういうことに。

佐藤　庵野さんは普段の生活で、他人に対してポーズをとるのは、すごい上手い人なのでしょうね。でも、作品に関してはプリミティブで、あからさまで、ミもフタもなくて、カッコ悪いとこも含めて、結局出てしまうのでしょうね。それは庵野さんに限らずでしょうが。その意味では、音楽的であると思うんですよ。よく自分の作り方を「ライブ感覚」だって言ってますよね。歌手って、声がかすれたって歌いたいわけですよね。コンサートで、歌えなくなって泣いちゃったりするわけですよね、そういうのと同じ気持ちでやってるんだと思います。「ほとばしる熱いパトス」みたいなものが（笑）、作品にダダーッと出る。富野さん以上にダダーッと出る。大人でない以上、もっと出るから、という話を聞くと、第壱話は実によくヒーですね。

佐藤　第壱話で初めてEVAに乗った時に、シンジが息が出来なくて苦しんでいたら、ミサトが「我慢しなさい、男の子でしょ」って言うでしょ。僕、あの台詞嫌いなんです。「そこで普通、そう言うか？」と思うんですけどね。

――男だって、息できないのは嫌ですよね。

佐藤　だけど、庵野さんはもう一人の主人公であるミサトに言わせてしまう。あれも、庵野さん自身のシンジへの、すなわち自分への言葉なのかなあ、と。

――なるほど。

佐藤　そういう意味で僕が見ると第壱話はものすごく面白いワケです。それと同時に辛いなあと思うわけです。

「エヴァンゲリオン」はどんなかたちで終わるんでしょうね。シンジのかかえている問題が、すなわち庵野さんの問題だとすれば、庵野さんの問題が解決しない限りシンジのドラマは完結しないんじゃないですか。

佐藤　問題が解決しなくても、「今は解決しない」と言い切るかたちにすれば終わる事が出来ると思いますよ。

ただね。原作の「人造人間キカイダー」の最終回じゃないんだけど（笑）。そんな風に自問自答して「エヴァンゲリオン」を作った庵野秀明は幸福になったんでしょうか？　EVAに乗ったシンジ君は果たして幸せになったんでしょうか？　自分で選んだ道たったし、選んだ道で成果を上げました。でも、「幸せになりましたか」という問いに対しては、庵野さんは、まだ自分自身、答えを見つけてないんじゃないかなあ。いや、ひょっとしたら、もう解答は見つかっていて、見つけた答えは「幸せ」じゃなかったのかも知れません。それはいずれ、次回作というかたちで語り出すのかもしれませんね。

GAINAXの仲間達がいる以上、本当は絶望じゃなかったと思うんですよ。そういう発言には、自分の絶望を食い止めるのは自分だと思った強迫観念があったのかもしれません。その強迫観念と戦うために、ゲンドウという仮想敵を設定したのかもしれません。「苦しみながらも、それを打ち破っていく碇シンジとは、俺だ」という気持ちもあったんだと思うんですよ。

※1　GAINAXは映画『オネアミスの翼　王立宇宙軍』('87年）の制作のために、アマチュアアニメ・カイの「DAICONFILM」のメンバーを中心に設立された。'84年の12月。

※2　庵野秀明の初監督作品となったオリジナルビデオ「トップをねらえ！」('88年）は、元々は彼が監督するために立てられた企画ではなかった。当時、社長だった岡田斗司夫の立てた企画が先に有り、後から彼が監督する事になったもの。

※3　太月俊傑はキャラクター・スタッフ・チャイルドン・ヘルのプロデューサー。「エヴァンゲリオン」の仕掛け人である。

※4　『ふしぎの海のナディア』は庵野秀明が監督を務めたTVシリーズ。1990年にNHKで放映された。

※5　「エヴァンゲリオン」の鈴原トウジ、相田ケンスケ加持リョウジ等のネーミングは村上龍の小説『愛と幻想のファシズム』の登場人物からとられている。

貞本義行

庵野さんが作るはずだった ラストが作ったラスト そして、僕が漫画で描くラスト

――今回の映画版には、貞本さんは、どういった形で参加されているんですか？

貞本　原画とレイアウトのお手伝いです。キャラクターデザインは、TV版と同しものを使っていますから。

　貞本さんは、アニメの実作業は久しぶりだと思いますが、どうでしたか？

貞本　どうでしたといわれても……久しぶりだなあって（笑）。あとは、絵が大きくて大変だったくらい。

――絵が大きい？

貞本　漫画の「エヴァンゲリオン」って、話を詰め込まなくっちゃいけない事もあって、全体的にコマがちっちゃいんですよね。そんな風に漫画を描くのに慣れちゃって、久しぶりにアニメの作画をしようとすると、なんて大きな絵を描かなくっちゃいけないんだろうって（笑）。

　漫画の1頁くらいの大きさの紙に、1枚の絵を描くわけですね。

貞本　その大きさのところに、巨大な目ん玉一つだけ描いたりすると、もうデ　サンがとれない（笑）。でかすぎで。だから、描いた後に、デッサンあってるのかなって、絵を裏返したり、ひっくり返したりして。でも、気分は、漫画に比べると楽ですね。

――楽というと、どのあたりが？

貞本　「エヴァンゲリオン」は、一応、アニメ版を原作にしているわけですけれど、漫画用に作られた話ではないので、それを漫画に直すのって、すごく頭と時間を使うんですよ。コマの配置とか、ストーリーの区切りとか、レイアウトとか。そういう部分がスッパリないので、わりと楽ちんたなあと（笑）。

――連載中の漫画ですが、この後はどうなるんですか？

貞本　先の事は、あんまり考えてないんですよね。毎回、次の事しか考えてなくて（笑）。でも、これからは、けっこう省ける話が多いので、話のペースは上がりそうです。最初、脚本を見せてもらった時は、この話をどうやって短くすればいいんだろうって、相当悩みまもたけどね（笑）。

　ストーリーやムードなど、漫画とアニメではは変えようと意識していたんですか。

貞本　変えるというか……僕が連載を始めた頃は、まだ「エヴァンゲリオン」がどういう作品になるのか、見えていませんでしたから。

――貞本さんは、企画当初から参加なさっていたんですよね。

貞本　ええ、第六話くらいまでは参加してましたでしょうか。アニメの方は第拾六話くらいまでは、アニメの方は第拾六話くらいまでは、どうでしたかな

レ」が、すごい好きだったんです。ああいう、人間の一番汚いものを見せておいて、実はその中にこそ一番きれいなものがあるんだよ、みたいな話が。でも、以前に、そういう映画の話を庵野さんにしても、全然興味がなさそうだったので。だから僕は、庵野さんはアメリカ映画とか、そっち系の人だと思っていたんです。

　たけと、庵野さんが作ったTV版のラストは、アメリカ映画的な痛快アクションものではなかった。

貞本　ええ。意外でしたね。でも、今は、TV版の「エヴァ」はなるべくして、あのようになったのかなあと思いますけど。

　――貞本さんはTV版の「エヴァ」の実作業は、第弐拾四話にだけ参加なさっているわけですよね。

貞本　実は、他の話数も、ちょこちょこと手伝ってるんですよ。トメとか、原画の直しとか。ストーリーなどに関しても、アイデア出しに協力したり。でも、その程度ですよ。それにしたって第弐拾話以降は、ほとんど口出しはしてないし　そのおかげで後半は面白く見ることができました。多少でも自分が関わっている時は、純粋に第三者の目で見る事は出来ませんでしたからね。

　――製作中の映画版第2弾の絵コンテですが、庵野さんの作業が随分、遅れたようですね。

貞本　正直な話、絵コンテの上がりを待っていて、待ちくたびれて、キレかかったスタッフもいるんですよ（苦笑）。このコンテが上がるのを半年くらい待っていたわけですからね。だけど、時間をかけて本気でモノを作るっていうのは、そういうものですよね。悩む時は悩むし、出来ない時は出来ない。庵野さんが悩んだだけのものが上がっていると僕は思います。

　――今回の「REBIRTH」編と映画版第2弾をあわせて、完結編になる予定ですよね。絵コンテをご覧になった印象は？

貞本　テレビ版の最終回は、最後に閉じてしまう感じでしたけど、今度のは世界観というかスケールが、どんどん広がっていく感じになるんです。僕は気に入っています。映画版のレイアウトを切りながら気づいた事があるんです。これは、何かに似てるなって。

　――何ですか？　アニメ作品ですか？

貞本　ええ。商業作品ではないんですけど、「DAICONIV」のOPフィルム（※3）にすごく似ているなって。爆発のシーンを延々と見せられて、見ている方が段々とハイになっていく感じとか。

　――ああ。なるほど。

貞本　特定のシーンが繰り返し繰り返し挿入されて、そこからまったく別のシーンに飛んで。そのシーンの並びかたの不連続性というか、唐突さが、とてもよく似ていると思うんですよ。

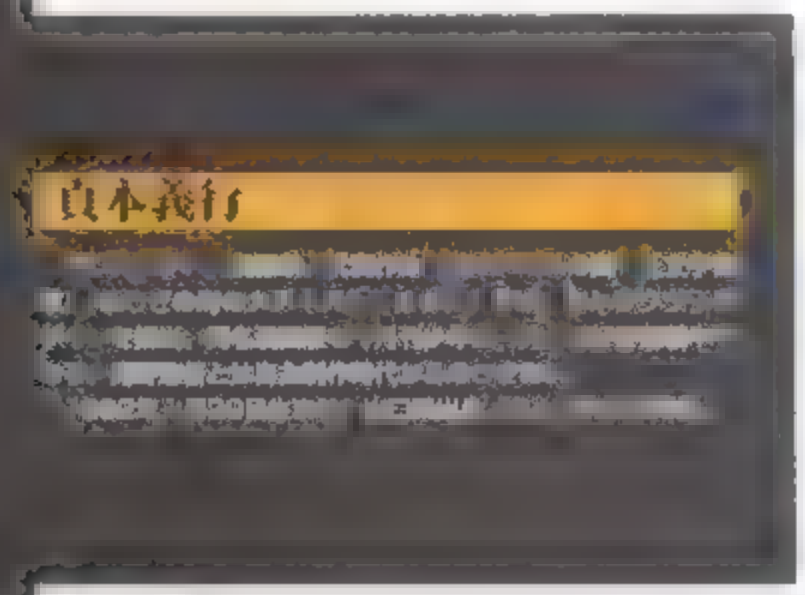
　――ある意味では、庵野監督は原点に戻ったと。

貞本　そう言えるかもしれませんね。今のコンテが映像になって、鷺巣さんの音楽がつくと、相当面白いフィルムになるでしょうね。ストーリーとして面白いというのではなく、フィルムとして面白いものになると思うんです。うまくいけばハイパー「DAICONIV」が見られると思いますよ。

※1　自分の中に24つの人格を持つ、多重人格者の青年を描いたノンフィクション作品。著者は「アルジャーノンに花束を」などで知られ　医師でもあるダニエル・キイス。

※2　アメリカの映画作家。独特の映像指導による幻想的な作品で有名。代表作に「ホ　リー・マウンテン」「エル　トポ」など。

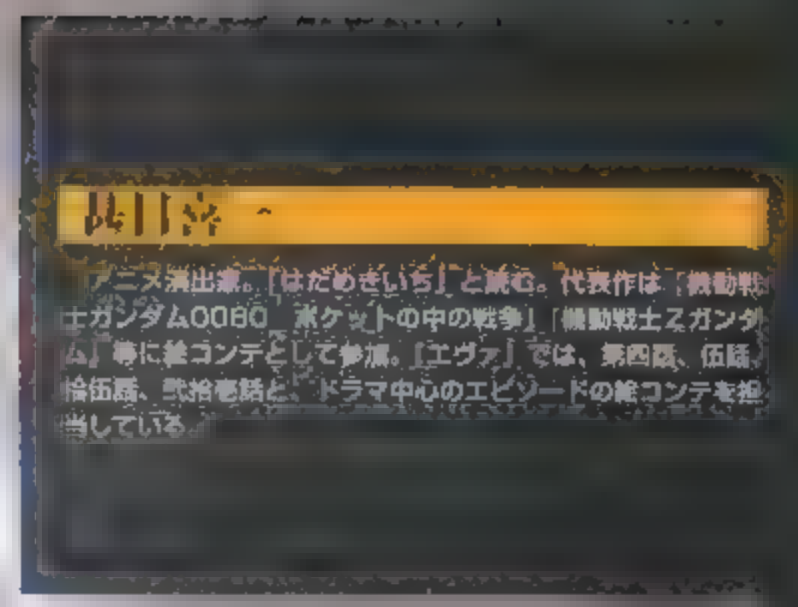
※3　まだアマチュア時代の庵野秀明、貞本義行などのメンバーが製作した、アニメフィルム。SFファンが集うイベントSF大会のオープ　グ用の作品として作られた



©GAINAX

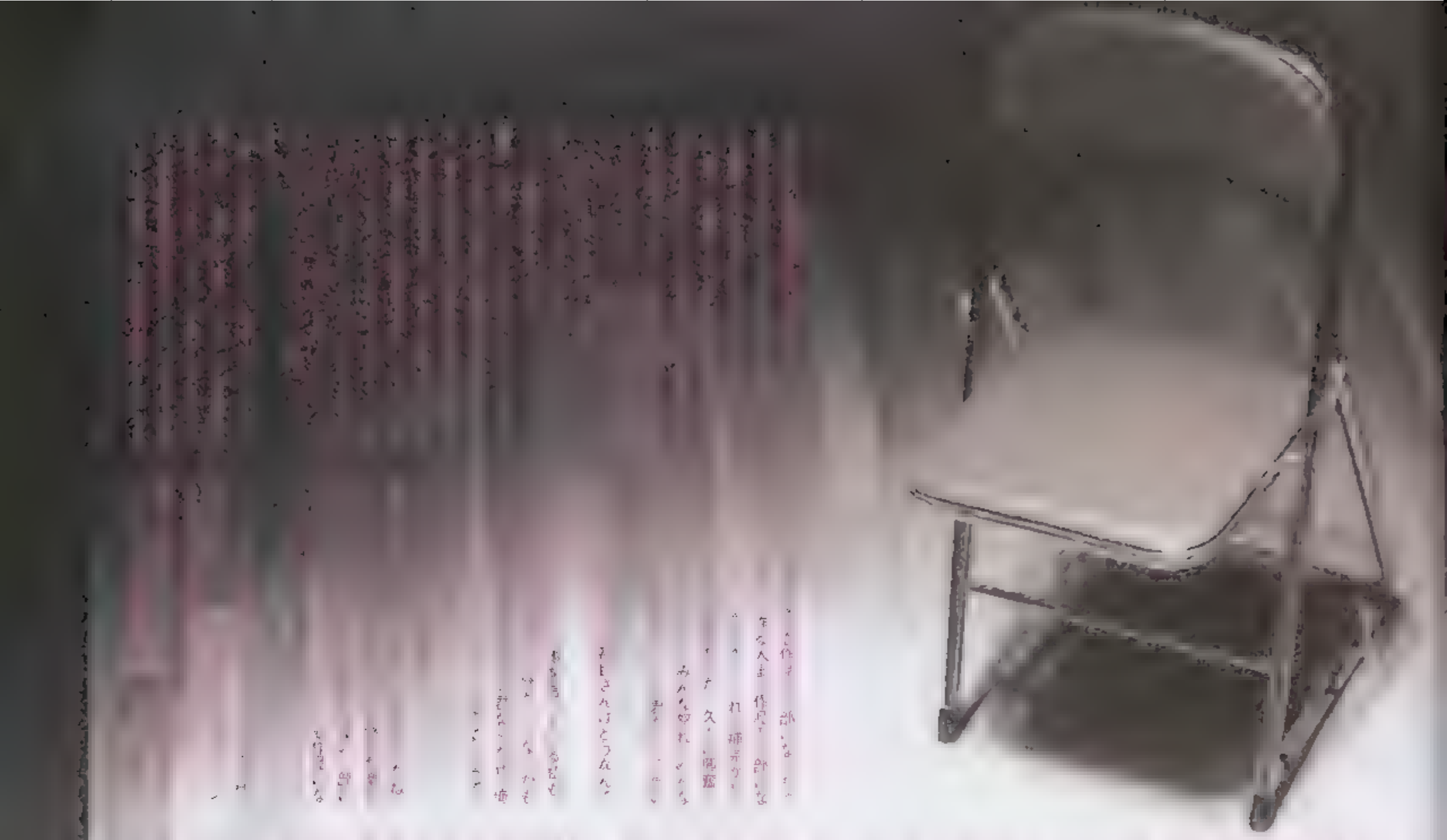
貞目喜一

「作った人間も
見ていた人間も
作品の一部になってしまう
それが人類補完計画か」



貞目喜一

アニメ演出家。「はだめきいち」と読む。代表作は「機動戦士ガンダム0080 ポケットの中の戦争」「機動戦士Zガンダム」等に絵コンテとして参加。「エヴァ」では、第四話、伍話、拾伍話、弐拾壱話と、ドラマ中心のエピソードの絵コンテを担当している。



「今の日本には、役者と呼べる人間はほとんどいないんですよ」

清川さんと庵野監督との出会いのお話からうかがいたいんですが

清川　僕が声の仕事を始めたのが「コンバット」の兵士役からなんですけど、もう30年も前の事です。で、庵野ちゃんは、その頃からずーっと僕の仕事を見ていたって言うんですよね。で、「僕のファンだった」なんて言うんです。それは、どうも怪しいんですけれどね（笑）

庵野監督は、清川さんが参加したどんな作品のファンだったのか？

清川　「ナディア」も「エヴァンゲリオン」も庵野ちゃんを含めて、ほとんど同じスタッフがやられているんですが、才能のある人が杯いるなあっていう印象が初めからありましたね。よくこんな話作るな、と思ったんですよ。

庵野　今ね、日本人の書いた戯曲っていうのは、中には才能のある方もいらっしゃるんでしょうけれども、日本語をちゃんと喋るような戯曲家がほとんどいないんですよ。

清川　「エヴァンゲリオン」に限らず、全体に言える事ですが、「エヴァンゲリオン」に出ている人達でも、僕が素晴らしいと思う人達は、その悪性をどう技術が磨かれていないから、そこを出していかないと出来ないんじゃないかなと。もっとも、今いったような事を庵野ちゃんに言うと、「そんな事はないです」って言いますけどね。

庵野　でも、清川さんから見ると、役者になっていないというわけですか。

清川　僕のこういった話を聞いていると不愉快になってくるだろうと思うんですが（苦笑）

庵野　いえいえ（笑）

清川　僕が庵野に対して、いい例として、スタジオに入ってきて、「今日風邪ひいちゃって、ちょっと声が」なんて言ってるバカがいるんですよ……こういう事言うから、僕は、いつもスタジオ行くと嫌われるんだけれど（苦笑）。例えば、バイオリニストで、演奏会へ行って、「すいません、今日バイオリン壊れちゃっているんですけど」なんて言ったら、「来なくていい」って言われちゃいますよね。それと同じ事をやっているわけですよ。

庵野　清川さんが望んでいるレベルに達していないという事ですか？

清川　達していないですね。特に若い子たちは、声を出して口がパクパクしていればいいと思っているんですよ。本当ならば、いつもそういう若い人達の中にいればいいんですけれど、庵野ちゃんが言っているような人物になりきれない。それで「最初からワルだとわかってしまうよう悪人は無理だよ」って言ったんです。ガーゴイルというのは、ネモと同じに言って来て、それで、別れてしまった、というのは、そういう話でしょう。最後の方まで、どちらが悪かわからないようにしましょう」って言ったんです。

庵野　明夫（※3）と並んで声を出すと、あいつの方がワルみたいな声なんだよね（笑）。

清川　初めて悪い事をやった時。最初はいい人のたのが、話末の話を聞いた時。最初はいい人も悪い人も、全部滅びちゃうという話にするつもりだったらしいんですよ。つまり、庵野ちゃんの考えでは、悪っていうのは、本当は悪じゃない。考えが違っていただけで、時代が変われば、善であったりもする。だから、全員滅びなきゃおかしい、と考えたらしいのね。結局、さまざまな事情で、それはなくなった（笑）。

庵野　今回の「エヴァンゲリオン」でも、庵野ちゃんはそういう考えらしいんですね。

清川　攻めてくる方が、悪になってますよね。地球を滅ぼそうと攻めてきた」って、こっちで勝手に悪っているわけですよ。でも、庵野ちゃんがあったんですか？

清川　ワルになれないというのは、よく言えば、善が優しいというか。

庵野　そんな素人の集まりを使って、庵野ちゃんは、作品を作っているわけですから。それで、庵野ちゃんという話にしたいらしいんですね。

清川　ちょっと話を戻しますけれど、清川さんがワルになりきれない声だというのは、ちょっと意外な感じがしました。というのも、どちらかといえば、庵野監督のイメージがあったものですから。

清川　「ナディア」をやる時に、僕の演じた役を説明された時に……名前を忘れているんだけれども、庵野ちゃんから「ほんとは、これ悪い人なんです」と言われたんですよ。それは「エヴァンゲリオン」の監督（※4）が、僕の声で悪い事をやらせたくないって言い出したんですよ。それで、

後にはいい人になった事があるんです　それで、僕はワルが出来ないんだなって強く感じたんですよ。

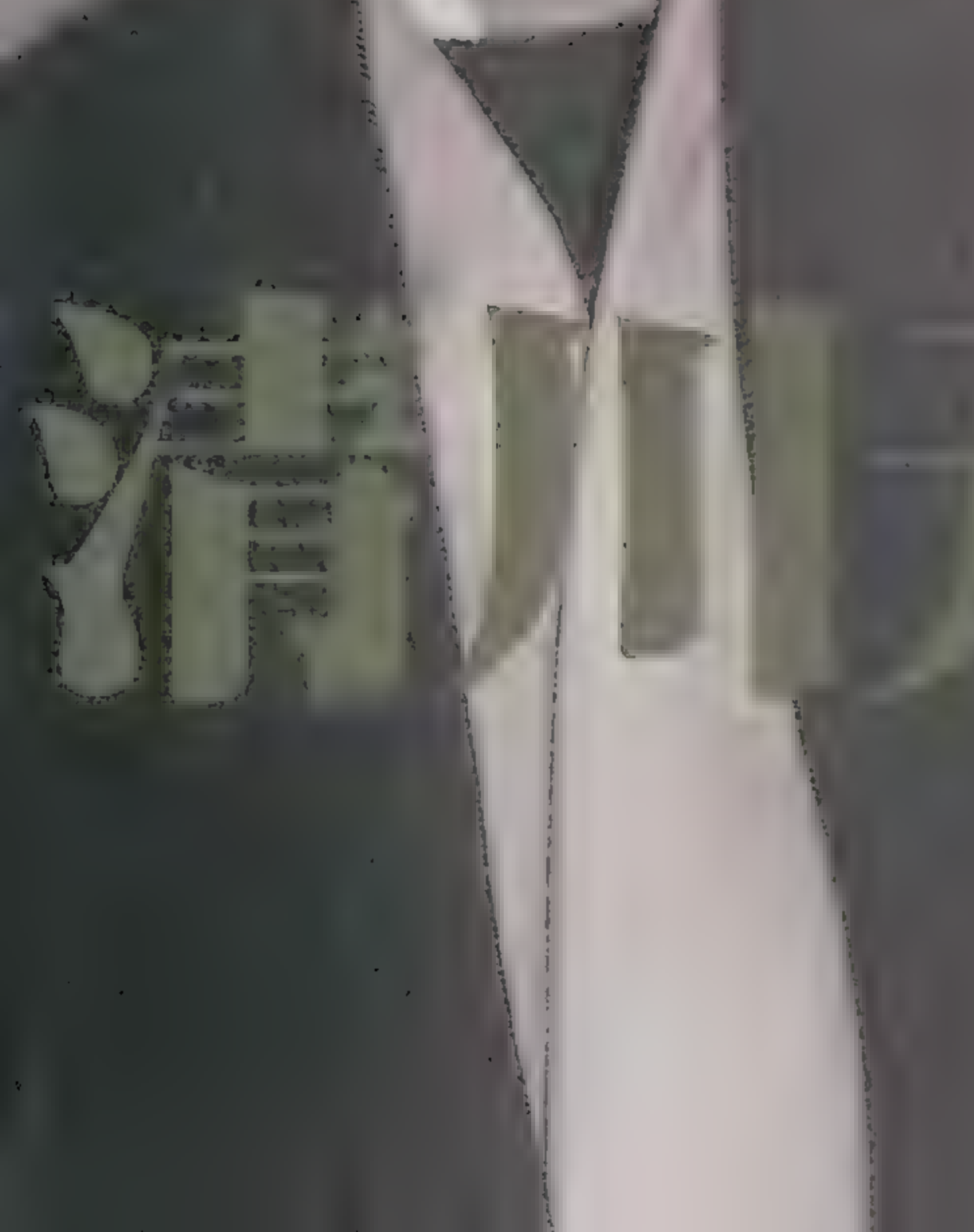
「ふしぎの海のナディア」のガーゴイルは、清川さんの声質を生かした悪役で、「ガンダム」のミカムラ博士は、清川さんの声質ゆえにいい人になったというわけですか。様々ですね。

清川　庵野ちゃんっていうのは、ほんとに凄い人ですよね。TVの「エヴァンゲリオン」も、絵が間に合わなかった後半の3、4本は録り直すそうですが、それだけ自分の作品に愛着もっているんだろうし、自信もあるんでしょう。だから、シリーズにしても、今回の映画版にしても、全員が庵野ちゃんにおんぶにだっこですよ。だから、庵野ちゃんの才能を見せる映画になるんじゃないでしょうか。ただ、それにしては僕らの力が足りない。

「ナディア」で初めに出会って、次に「エヴァンゲリオン」に参加なさった。その間が何年かあいているわけですけれど、庵野監督の印象は変わりませんか？

清川　自分のやりたい事をやりはじめたんじゃないかなとは思いましたね。最初は、こんなに自分のやりたい事をやっていいのかなという不安はあったと思うんですよ。「ナディア」の時は、結局様々な事情で、本当は嫌だったんでしょうけれど、それが普通のアニメかなと思いながら、結末を直してしまった　それで、そのくらいのところでやるとヒットするのかな、って思ったのかもしれませんね。あの人、ヒットするのかしないのか、あんまり関係ないような顔をしてますけど、やっぱりそれは気にしているみたいですよ。で、今度は自分のやりたいようにやって、「これでヒットすれば御の字だな」と思っていたんじゃないでしょうか。でも、それがだいぶ評判になりましたからね。だから、この次を作るとすれば、もっと庵野風になるでしょうね。庵野ちゃん礼賛になってしまうけれど、僕は次回作に期待しますよ。僕は、食うためにいろんなアニメに出演してますけど、庵野ちゃんぐらい、自分の頭の中に全部出来ちゃっている人っていませんよ。もっとも、だから絵が遅いんでしょうけどね。絵が出来るのが早くて、アフレコの時に絵を間に合わせてくれると、もっといい人でしょうね（笑）。

注1　CBS制作の朝鮮戦争時の野戦病院を舞台にした人気TVシリーズ「MASH」
注2　「ふしぎの海のナディア」ロケハン後の懇親会で庵野監督自身が語っている
注3　大場晴夫。ネモ船長を演じていた
注4　今一事実。オリジナルビデオアニメ「メガゾーン23」やTHE ANIMATION「ONE 地球が静止する日」の脚本やメルヘンの「イオノン弾き」の脚本など



清川元夢

舞台での活躍あり。
では毛玉コウゾウを演
アニメで時代劇は題材の中でも難
になった「ふしぎの海のナディア」のガーゴ
イル、「機動戦士ガンダム」のテム・レイ。
沖縄や特撮番組でも活躍。ちなみに　年月の
外見は、彼がモデルになっている。
　年　月　日生まれ、東京都出身。東京俳優生活協同組合所属

私のこと、好き？

LOVE ME!?

私のこと、好き？

©YAN-TRA

あなた誰？

DOKUSHIN

4

用語集

【A10神経】

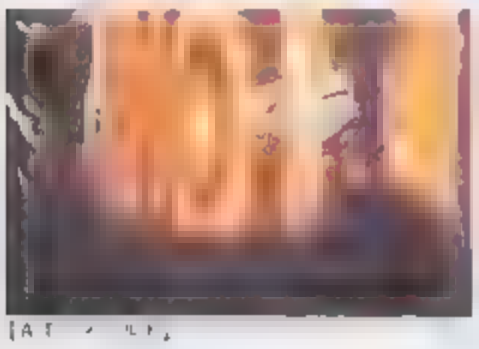
エヴァンゲリオンの操縦は、主に操縦者との脳神経結合により行われる。その中で最も重要視されるのが、このA10神経である。人間の脳幹には、中央部に沿って縦に4列の神経核が並んでおり、その配列の両外側の2列をA神経と呼ぶ。その下位から数えて10番目の神経が、A10神経である。A10神経は、脳幹から視床下部を通って大脳皮質の前頭連合野に分布しており、記憶や認知、運動の遂行等の高次な脳機能と不安や恐れ、幸福感や快楽等の情動と関係する。また、親子や恋人同士の愛情に関しても重要な役割を果たすとも云われる。

【ANGEL】

人類を脅かす存在である使徒。その英語名は、APOSTLE(＝使徒)ではなく、ANGEL(＝天使)とされている。確かに、サキエル、シャムシエル、ラミエルなど、使徒に付与された名称は、第1の使徒アダムを除き、全て天使の名である。海中より現出した第6の使徒の名は「魚」の天使ガギエルであり、衛星軌道上より落下した第10の使徒の名が「空」の天使サハクィエルである等、各々の使徒の個性、初期確認地点、出現状況と奇妙な符合を持つ。聖書中で記述される天使は、一般に広く流布された「翼を持ち、白い服を着て、頭に天使の輪を付けた」スタイルとは異なっており、人間に酷似したもの、動物の形をとるもの等、千差万別である。この事から、天使は特定の形を持たない、或は不定形なものと推測も成り立つ。尚、ANGELは、天使の他にも、先触れ、神の使い等の意味を持つ。

【A.T.フィールド】

ABSOLUTE TERROR FIELDの略。使徒が周囲に展開する絶対領域、物理的障壁である。その防御力は絶大で、人類の現有兵器をほぼ完全に退ける程。エヴァンゲリオンが、使徒に対抗し得る唯一の兵器と称されるのは、このA.T.フィールドを中和する能力による所が大きい。このA.T.フィールドは、空間を支える力(第12の使徒レリエル)、精神攻撃(第15の使徒アラエル)に使用されるなど、単なる障壁に留まらない用法が可能。尚、セントラルドグマに侵入した、人型の使徒者カヲルは、A.T.フィールドを「誰もが持っている心の壁」と云った。


【A.T.フィールド】

【EVA専用改造陽電子砲ネルフ仕様】

対第5の使徒戦に於いて初号機が使用した、超長射程を持つ陽電子砲。実際には、徴用した戦略自衛隊技術研究所の試作自走陽電子砲を改装したものである。自走砲時の無限起動等が残存している所等を見ても、この改装が急な措置であった事が分かる。この時、EVA専用陽電子砲円環加速式試作20型が完成していたが、ヤシマ作戦には性能的に不十分であった為、使用されなかった ヤシマ作戦決行時は ATフィールドを超長距離から貫く為、日本中の電力供給を一時停止させ、大量の電力により生み出された極大エネルギーを射出。第一撃で、見事使徒を貫通し、コア直撃に成功した。因みに、陽電子砲とは、陽電子を磁力により加速・収束させる事で極大なエネルギーを生成、そのエネルギーによって対象物を破壊する兵器である。尚、ヤシマ作戦で未使用だったEVA専用陽電子砲円環加速式試作20型は対第7の使徒戦で使用された。

【L.C.L.】

パイロット搭乗後、エントリープラグ内に満たされる液体。粘着質で、血の様な臭気を持つ。L.C.Lはパイロット搭乗後に電荷され、その分子配列を変化させる。それにより、L.C.LはパイロットとEVAを精神的に接続、肺に直接空気を供給する能力を発現させるのである。また、パイロットを精神攻撃、物理的衝撃から保護する役割も負っており、L.C.Lを羊水とイメージさせる由縁となっている。なお、ターミナルドグマ最下層に満たされた液体も同じくL.C.L。電荷の有無は不明。ちなみに、よく知られているLink Contactの略称であると云うのは誤りである

【MAGI】

赤木ナオコ博士が開発した、人格移植OSを搭載したスーパーコンピュータ。特務機関ネルフの頭脳とも云える存在で、多くの懸案、計画等を策定、検討、解決する。MAGIシステムは、ネルフ本部の他にも、独逸、亜米利加、中国、日本では他に松代に設置されている。

【MAGI】

【N²兵器】

国連軍、戦略自衛隊等の軍隊が保有する中では、最大の破壊力を持つ兵器。N²地雷、N²爆雷、N²航空爆雷、N²爆弾等が在る。第3の使徒サキエル、第7の使徒イスラフェルには、一応通用し足留め程度の効果を得られたが、第14の使徒セルエルに使用されたN爆弾は、至近距離で爆発したにも関らず、全く影響を及ぼさなかった。

【S²機関】

SUPER SOLENOID機関の略(「SOLENOIDは、電流を流すと内部に磁力を生じる、円筒状のコイルの事)。葛城博士が提唱したS²理論によって説明されるため、こう呼ばれる。南極で発見された「光の巨人」の動力源と考えられ、後に出現した使徒群も同様の機関を内包していた。同機関を搭載すれば、エヴァンゲリオンの活動時間は計算上、無限へと増大する。各地でS²機関への搭載実験が繰り返されたが、米国第2支部の消滅という悲劇的な結果を齎している。

【S²機関】

SUPER SOLENOID理論の略。セカンドインパクト以前より葛城博士が提唱していた理論で、発表当初は突飛に過ぎると部撮されたが、第1の使徒アダムの発見により、図らずも実証される事となった。使徒が持つS²機関は、同理論により説明できる。尚、提唱者である葛城博士は、調査隊を率いて南極に赴いた際にセカンドインパクトが発生、死亡した。

【アダム】

人類の前に初めて姿を現わした使徒 第1の使徒とも呼ばれ、南極で発見された。セカンドインパクトは、このアダムとの接触が原因とも伝えられる 使徒との接触によりサードインパクトを誘発するアダムは、ターミナルドグマ内に幽閉中と信じられていたが、実際には虚偽であり、地下の巨人はリリスだった 因みに、ゲンドウは、加持が独国から移送した胎児の様なものを「最初の人間アダム」と云っていたが、第1の使徒と同一の存在であるかは不明。「旧約聖書」創世記では、アダムは神の形を象って造られた最初の人間として記述されている。その語源は「土」「赤」「造る」等の諸説があり、現在でも定かではない。なお、カバラでは人間性が精神的に完璧な存在の事をアダム・カドモンと呼ぶが、劇中のアダムとの関連は不明。

【アダム】

【アルミサエル(第16の使徒)】

光る紐状の使徒。発見時は、DNAを想起させる二重螺旋の円環として中空に浮遊。だが、迎撃に出た零号機を発見すると円環を解き、直線となり同機を貫いた。本使徒は、零号機のA.Tフィールドを中和しつつ、生体部品を侵食、生体融合を目指したが、零号機パイロット、綾波レイはそれを逆用。自らA.T.フィールドを反転させ、自爆する事で本使徒を消失させた。

【アラエル(第15の使徒)】

衛星軌道上に出現した、鳥の様な使徒。その全身は光に包まれており、形状は不明瞭であった。

【第16の使徒アルミサエル】

【エヴァンゲリオン初号機】

【ヴェルン】

人類補完委員会の調査機関。世界各地に支部を持ち、欧ゲンドウ、碇ユイ、赤木ナオコらが初期メンバー。但し、その存在は公のものではなく、通常は人工進化研究所等を隠れ蓑として活動していた。後に、冬月コウゾウ、赤木リツコ、真嶋ミサトらも同組織に参加、E計画、人類補完計画の推進に参加した。2010年に、赤木ナオコ博士がMAGIを完成させると、ゲヒルンは即日解体され、某のままE計画の実行組織たる特務機関ネルフに移行した。ゲヒルン（gehirn）は、独語で脳を意味するが、ネルフの前身たるMAGIの完成とともに解体されたのは興味深い。

【コア】

使徒唯一の弱点とも云われる、赤色の球。初期に出現した使徒は、このコアを露出させたものが多かったが、後には内部に秘匿し使徒たちの、防御壁を展開するものや、初号機の胸部にも確認されていた、同じものが、他のEVAにも存在するかは不明。ただ、フォースチルドレン選出にあたり、赤木リツコ博士は鈴原トウジの事を「コアの用意が可能な子供」と云っており、この事は、ネルフがコアを「用意」する事が可能で、また搭乗者毎に別個のコアが用意されるという事実を示唆している

【使徒のコア】

【国連（UN）】

国際連合（United Nations）の略称。第二次大戦後、平和と安全の維持、各国間の友好関係の促進、経済・社会・文化・人道上の問題について、国際協力を達成するために設立された諸国家の組織。1945年10月24日に正式成立。人工進化研究所、特務機関ネルフ等も同組織に属するが、実際には殆ど能力を持たず、その運用はゼーレが決定している。国連軍は、セカンドインパクトに続く大規模な内戦の後に編成され、衰退の両軍皆の軍隊をその指揮下に収めたが、使徒との戦闘に関しては全く無力であった。

【サードインパクト】

ファーストインパクト、セカンドインパクトに続いて予測される大規模災厄。アダムと使徒のシンクロの接触により発生、人類を滅ぼす規模のものになると云う。特務機関ネルフやエヴァンゲリオンは、このサードインパクトを未然に防ぐ為と、対外的には説明されている

【第6の使徒 ガギエル】

【エントリープラグ】

EVAの操縦者が乗り込む、所謂コクピット。そのフォルムは細長いカプセル状で、パイロットの搭乗は、これをEVAの背面部に挿入する事で行われる。因みに、人間の背面は、脳と共に中枢神経系を構成し、脳とまゆとの間の知覚・運動の刺激伝達の中継及び反射機能を司る役割を持つ。尚、同プラグは緊急時に脱出カプセルの役目も果たす為、パラシュートや脱出用ロケット等が装備されている。

【ガギエル（第6の使徒）】

弐号機及び同パイロットを移送中の国連軍艦隊を、太平洋上で襲撃した使徒。水中活動に特化しており、その形状は魚類に相似する。全長500メートルを超す巨躯と高速度が生み出す物理的衝撃で、同艦隊の艦艇を次々と撃沈した。近接する目標に対しては、口腔部を開口、就利な牙により破砕する。弐号機を海中に引きずり込む事に成功するが、第壱中学校ミサト一尉（当時）操縦の「試作一号機」の主砲による使徒口中への零距離射撃「ゼロ・ゼロ・ダブル」で排撃された。

【第11の使徒 イロウル】

【イロウル（第11の使徒）】

スーパーコンピュータ「MAGI」に侵入したマイクロマシンサイズの使徒。第87タンパク量で発見された後、爆発的に増殖、以後、MAGIシステム内で使徒反応を検出した。発現初期にそのオンとオフという弱点を有していたが、同使徒は短時間でこれを克服。逆にオフラインを採り入れる事で爆発的な増殖を成し遂げる。ネルフ側が展開するガードプログラムを次々と突破し、MELCHIOR-1、BALTHASAR-2をリプログラム、自律自爆を誘発し、決壊させた。然しながら残ったCASPER-3のリプログラムには至らず、空に赤木リツコ博士の自滅促進プログラムにより、自滅させられた。

【エヴァンゲリオン】

正式名称は、汎用人型決戦兵器・人造人間エヴァンゲリオン。使徒から人類を守るために、14年の歳月と天文学的な経費を掛けて建造された、建造は特務機関ネルフによって極秘裏に行われ、その運用も同組織にゆだねられている。EVAは、使徒同様A.Tフィールドを展開、中和する能力を持つが、搭乗可能なのは母親のいない14歳の少年少女に限られる。通常は有線による電力供給で稼動、非常時にはケーブルを切り離し、体内電池で活動する事も可能だが、5分程度の活動が限界である。現在迄に零号機から3号機までが記載されたが、零号機、3号機は既に失われた。尚、エヴァンゲリオンのネーミングは「旧約聖書」におけるアダムの息子（EVA）と、英語の福音（Evangel）からと思われる。

【アンビリカルケーブル】

エヴァンゲリオンが、外部からの電力供給を受ける為のケーブル

【アンビリカルケーブル】

活動エネルギーとしてVA力を消費するEVAは、内蔵電源では凡そ5分しか活動できず、外部からの継続的な電力供給を必要とする。増大に必須の補間EVAの活動時

MANTRA

【サキエル（第3の使徒）】

セカンドインパクトから15年ぶりに、人類の前に姿を現わした使徒。本使徒のフォルムは人に近似するが、人の様な頭部は存在しない。強烈の攻撃を易々と退け、使徒の戦闘能力の高さを人類に見せつけた。N²地雷の攻撃により使徒攻撃速度を減速させたが、程なく本復。顔状の部位を一つ増やしたセカンドバージョンに進化して侵攻を再開した。だが、同日到着したサードチルドレン＝碇シンジが色鳥初号機に搭乗し、第3新東京市内で戦闘に突入。事実状態に陥った同機により迎撃された。

【サハクィエル（第10の使徒）】

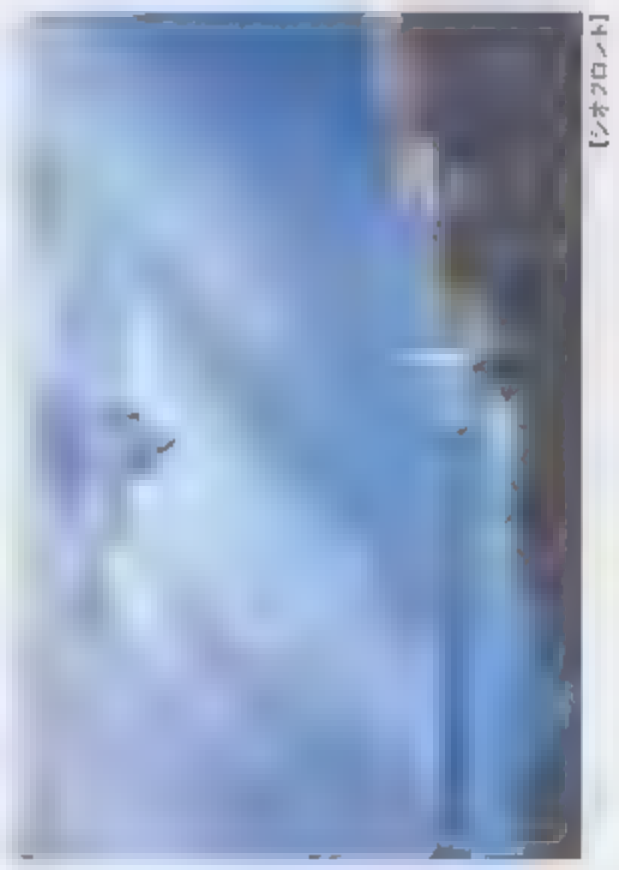
インド洋上空の衛星軌道上で発見された最大の使徒。高々度から、強力なジャミングを展開、地上の通信を広範囲に渡って妨害した。N²航空爆雷による攻撃も試みられたが、効果は絶無。調査に赴いた衛星もA.T.フィールドにより破壊された。更に、本使徒は同地点から自らを切り離した小個体を落下させる。これは、爆雷では なく衝撃作正であり、用済を定めた使徒は、最終的に自らを落下させ、第3新東京市の包括的攻撃を自指した。然し、EVA3機の情打ともいえる作戦 ——自身の手で落下する使徒を受けとめる——により、その意図を挫かれた。

【3号機】

米国ネルフ第一支部で建造されたプロダクションモデルのエヴァンゲリオン。カラーリングはダークブルー。第2支部の消滅に恐怖した米国政府が、急遽、日本への移管を決定、空輸された。その途上で3号機は第13の使徒バルディエルの侵入を許したようだ。日本到着後、松代での起動実験中に使徒に占有され、使徒として初号機に処理された。なお、搭乗していたフォースチルドレン＝鈴原トウジは、脚部の一部欠損が認められたものの、無事救出されている。

【サンダルフォン（第8の使徒）】

浅間山火口内で、完成以前——云わば繭の状態で発見された使徒。戦闘機・耐熱バチスカーフがモニタ、したその形状は、人間の胎児を彷彿とさせるものであった。ネルフは、同使徒の捕獲を企図。現実産の凍結も含むA－17を発令し、D型装備の弐号機を宮ヶ瀬内に潜航させた。然し、回収の段階で使徒は覚醒、古生代の生物アノマロカリスに酷似した姿へと急激な進化を遂げ、電磁場を脱した。捕獲作戦担当の葛城ミサト一尉（当時）は、直ちに作戦を使徒撃滅へと変更。本使徒は熱量場を利用した弐号機の攻撃の前に、



【ジオフロント】

浮島の海と消えた

【ジオフロント】

第3新東京市地下に広がる大深度地下都市。全長66キロ、高さ69キロの巨大な空間に建造された。但し、この空間はジオフロント用に建造されたものではなく、既存の巨大な球形空間が土砂で埋まったもの。同空間の存在、発生要因は不明。中央にはネルフ本部が在り、その周囲には、森林、地底湖等が広がっている。更に、天井部からは幾多の高層ビル群が、逆さまに伸びており、天井都市と呼称されている。これらは第3新東京市上に建つビルと同一物で、使徒襲来時に地下へと格納されたもの。地上からジオフロントへの交通は、カートレインやモノレール等が使用される。

【使徒の目】

ゼーレが、その行動の指針としているらしい書物。ゼーレは「完成文書」或は「ゼーレのシナリオ」に従ってエヴァンゲリオンを建造し、使徒との戦いを展開しているらしい。「完成文書」を元に、ゼーレが自らの計画書としての「シナリオ」を書いたのか、その逆なのかは不明。同文書には、侵攻してくる使徒等についても記述されていた。ゼーレの「完成文書」は同組織内では「真実の書」とも呼ばれるもうだ。尚、「完成文書」は現実にも存在する。1947年にイスラエルの湖「死海」付近の洞穴で発掘され、内容は「旧約聖書」とその「外典」——「聖書」以外の宗教的文献である。実在する「完成文書」とゼーレの「完成文書」の関係は不明。

【使徒】

超科学的な能力を持つ、謎の存在。人類の直径数十キロに及ぶ巨大な物から、マイクロマシンクラスの微小な物まで様々なサイズをとる。また、そのフォルムも立方体から実体を持たない「影」使徒まで、それぞれ異なった外見と能力を有している。その正体、目的は不明だが、一様に第3新東京市（の地下に眠る巨人）を目指して侵攻してくる。使徒は、粒子と波、両方の性質を備える光の様なもので構成されており、構成素材の違いはあれど、その固有形態パターンは人間の遺伝子に酷似していた。ゼーレのシナリオによれば、使徒の襲来はあカヲルをもって終了したらしいが……

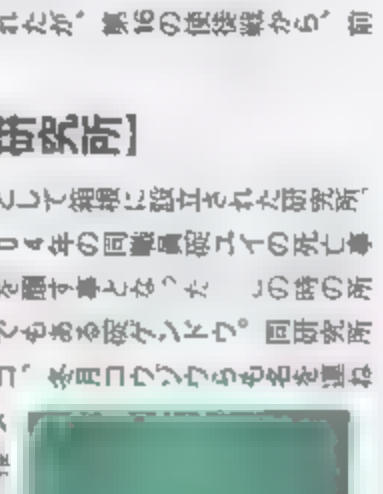
【シャムシエル（第4の使徒）】

15年ぶりの使徒襲来から、時を置かずして現れた第4の使徒。甲殻を想起させる身体部、目の様な紋様を持つ頭部、胸部に折り畳まれた8本の前足等、そのフォルムは昆虫に酷似する。また、その目的、周囲の状況に応じて、飛行、戦闘、半飛行の三形態に変態出来る事が確認されている。海上より飛来した本使徒は、超低空で第3新東京市に侵入。迎撃に出た初号機と戦闘となるが、コア部にプログレッシブナイフを突き立てられ、その活動を停止させた。コア以外は殆ど原形を留めたまま確保された為、使徒の構成素材、遺伝子配列等、貴重な研究資料として様々なデータを提供した。

【十字架】

【ゼーレのシンボル】

「エヴァンゲリオン」という作品には、十字架を想起させるものが多い。使徒が起こす爆発、ミサトのペンダント、事足した電子機に突き立てられた停止信号プラグ、3号機輸送の際に使用され



【磔刑】

て磔にしたらしいが……

【シャムシエル（第4の使徒）】

15年ぶりの使徒襲来から、時を置かずして現れた第4の使徒。甲殻を想起させる身体部、目の様な紋様を持つ頭部、胸部に折り畳まれた8本の前足等、そのフォルムは昆虫に酷似する。また、その目的、周囲の状況に応じて、飛行、戦闘、半飛行の三形態に変態出来る事が確認されている。海上より飛来した本使徒は、超低空で第3新東京市に侵入。迎撃に出た初号機と戦闘となるが、コア部にプログレッシブナイフを突き立てられ、その活動を停止させた。コア以外は殆ど原形を留めたまま確保された為、使徒の構成素材、遺伝子配列等、貴重な研究資料として様々なデータを提供した。

【十字架】

【ゼーレのシンボル】

「エヴァンゲリオン」という作品には、十字架を想起させるものが多い。使徒が起こす爆発、ミサトのペンダント、事足した電子機に突き立てられた停止信号プラグ、3号機輸送の際に使用され

【磔刑】

た十字架、地下でリリスを磔にしていた柱等。十字架は、キリスト教のシンボルとして広く知られるが、キリスト以前は苦痛と死をもたらす刑具に過ぎず、イエス・キリストの死により、愛と赦しの象徴、自己犠牲の象徴に変質した。但し、十字架は先史時代に、太陽、天、風を示す象徴として広まっても いた。エヴァの十字架は、キリスト、キリスト以前、どちらを意味するのだろうか。

【初号機（EVA -01 TEST TYPE）】

零号機に続いてネルフ本部で建造された機体。実戦に投入された最初のエヴァンゲリオンでもある。初起動以前は、起動確率が0.0000000001%にも満たなかった為、0（オーナイン）システムと那様された。起動後は第3新東京市防衛の要として幾多の作戦の中核を担った。然し、暴走やエントリープラグ未挿入体の稼動、活動限界を超えた行動等、計算外の事象も多く見られ、第14の使徒戦では、使徒を捕食、直接S機関を獲得してもいる。専属パイロットはサードチルドレン＝碇シンジ。カラーリングはパープル。第14の使徒戦直後にネルフ司令官碇ゲンドウにより凍結されたが、第16の使徒戦から、前線に復帰した。

【人工進化研究所】

国連直轄の組織として箱根に設立された研究所。同研究所は2004年の同計画凍結の完了事故を機に、物語を離す事となった。この時の所長は、ユイの夫でもある碇ゲンドウ。同研究所には、赤木ナオコ、ま月コウゾウらも名を連ね

【ジオフロント】

ている。そのメンバーから類推出来る通り、実の際にはゲヒルンの活動拠点となっており、MAGIの理論構築、EVA零号機の製作、アダム再生計画が推進されていた。

【人類補完計画】

文字通り、人類の欠落した部分を埋い「完璧な存在」にするための計画。人類補完委員会、ゼーレ、碇ゲンドウらにより、極秘裏に推進されていた。特務機関ネルフもエヴァンゲリオンも、実際は同計画の為に組織、建造されたもの。ニサトの言葉を借りれば、「出来損ないの群体としての人類を、完全な単体生物へ

日置京の復興を目指した日本臨時政府が、2001年に建設に着手、2003年には首都としての役割をほぼ果たすようになった。2005年に承認された第2次遷都計画によれば、首都中の第3新東京市に遷都される予定。同市の近隣にはネルフの施設が集積する松代があり、MAGIシステム、実験場が存在している。

【第3新東京市】

第2新東京市に代わる新たな日本国の首都として建造中の都市。然し、その実体は使徒殲撃用迎撃要塞都市である。都市中央に林立するヒル群も、その多くは兵装ビルと呼称されるエヴァの支援施設であり、周辺にも多くの迎撃兵器が配備されている。都市の地下には広大なジオフロント（大深度地下都市）が広がっており、その中央に特務機関ネルフの本部もある。第3新東京市の人間は、遷都以前の住人も少数居住しているものの、殆どが何らかの形でネルフに関係する人々である。だが、度重なる使徒襲来で、相当数の人間が重軽傷。第16の使徒と零号機が起した爆発によって、その大半が壊滅した。

【第3新東京市の建設予定区】

第3新東京市にある、綾波レイ、碇シンジ、惣流・アスカ・ラングレーらが通う中学校。彼らは全て2Aに在籍しているが、これは2Aが全てチルドレンの関係者であったため。同クラスの給食トウジも、EVA3号機の日本移管に伴い、第3新東京市に転校してきた。

【ターミナルドグマ】

セントラルドグマの最下層に位置する区域。そこにはしCLがあるらしい。塔のはがネルフ内部でも、入場が許可されているのは、司令、副司令ら極少数の人間だけ。使徒が侵攻の目標としていたのは、おそらくここと考えられる。最も使徒の侵入を阻んできたが、人類の使徒サキエルに突破を許した。

【ターミナルドグマ】

【第2の使徒】

詳細は不明だが、その時期から、第1の使徒アダム出現から第3の使徒サキエル出現までの間に確認されたと考えられる。サキエルが15年ぶりに人類の前に姿を現わした使徒である事を勘案すると、アダムとはほぼ同時期に発見されたのだろう。第2の使徒として、ターミナルドグマ深奥に拘束されたリリスを当てる説もあるが、真相は不明。

【第2新東京市】

セカンドインパクトと、その二期間後に投下された新型爆弾により壊滅した旧東京に代わり、新たな首都として旧箱根湖に建設された都市

【セントラルドグマ】

ネルフ本部直下に広がる、地下1kmに及ぶ巨大な地下区域。複数の隔壁によって区画されており、その最下層には、ターミナルドグマ、しCLの滝など、謎にされたリリスが存在する。因みに、セントラルドグマのネーミングは、生物学から。DNA→RNA→蛋白質と伝達される遺伝情報は、一旦蛋白質に写されると、核酸や他の蛋白質に伝達される事がない。この遺伝情報の流れをセントラルドグマという。

【第3の使徒】

2003年の南沙諸島における中国とベトナムの軍事衝突を機に発足された、国防軍直属の組織。自衛隊は陸海空の全軍が統一国軍に編入されており、戦略自衛隊は日本国の直接指揮下にある唯一の軍隊と云える。その編成は、歩兵、戦車、航空機等、従来の軍隊の延長線上に位置するもので、使途事象より、都市攻略、陸戦作戦等、対人戦に向く。N²兵器、BC兵器等も装備しており、その軍事力は侮り難い。英文表記はつSSDF「JAPAN STRATEGY SELF DEFENSE FORCE」。戦自と略称される事も多い。

【ターミナルドグマ】

セントラルドグマの最下層に位置する区域。そ

【第13の使徒ゼルエル】

【セルエル（第14の使徒）】

ネルフ本部への侵攻を果たした初の使徒。その能力そのものは未だ謎に包まれており、行動は使徒、肩下から伸びた巻状の腕を縦横に操り、対象を切断する。また、頭部部から発される光線は、地上とジオフロントを隔てる18の特殊装甲を一瞬で蒸発させる程に強力。防御力も強靭で、EVA弐号機の零種兵器の装甲も兼力であった。更に、コアを狙うカバ

【セカンドインパクト】

西暦2000年9月13日に人類を襲った大災害。未だ、噴火の最中気象と、その後に起きた内戦等のために、世界人口の半分が死に至った。40億年前の地球と小惑星の激突（＝ヘキサゴンインパクト）以来の、巨大な災厄である事から、セカンドインパクトと呼ばれる。一般の人々には、南極大陸マーカム山に落下した大質量の隕石が原因と説明されているが、実際には、ゼーレとゲンドウらが、他の使徒の覚醒以前に第1の使徒アダムを卵に還元する事で、被害を最小限に止めようとした結果、発生したもの。セカンドインパクト後の地球は気象が大きく変動し、日本は四季を失った。劇中、蝉の泣き声がするのは、一年中真夏の様な日が続いている為である。

【セカンドインパクト後の世界】

新世紀エヴァンゲリオンのオープニングフィルムに登場し、彼ゲンドウの執務室に映し出されていた、カバラの象徴的な図版。カバラとは、モーセが神から授かったとされる「トーラー」の秘教的解釈学を中核としたユダヤ教の密教である。この図版は、10個の球体と22の経路で構成されており、既知の宇宙構造図として、既成にするマップとして、人類の予定された歴史として、様々に読み解ける。10個の球体はセフィラと呼ばれ、それぞれケテール（王冠）、コクマー（智恵）、ビナー（理解）、ケセド（慈悲）、ゲブラー（峻厳）、ティファレト（美）、ネツァク（勝利）、ホド（栄光）、イェソド（基礎）、マルクト（王国）の属性を持つ。

【セーレの紋章】

【セーレの紋章】

逆三角形に七つの目を重ねた、奇妙な紋章。リリスの額を覆う仮面にも同様の紋様が描かれており、セーレとほぼ同じ組織であるようだ。

【人類補完委員会】

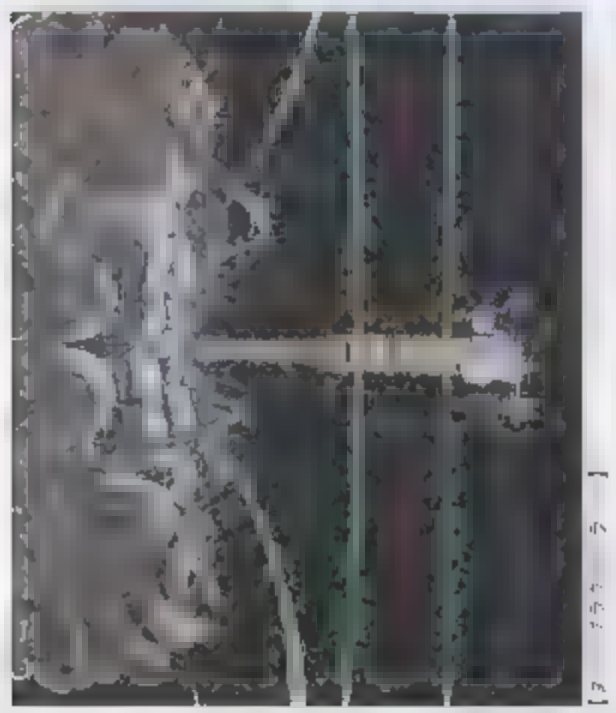
キール・ローレンツを議長とする国連直属の機関。人類補完計画推進の為、セカンドインパクト後に設置された。特務機関ネルフは、同委員会直属の組織として活動している。委員会には、議長を始め、米、仏、英、露の4人の男が参加、ゼーレとほぼ同じ組織であるようだ。

【セーレ】

【セーレ】

セカンドインパクト以前から組織されていたらしい、謎の組織。特務機関ネルフの設立、人類補完計画の推進等に大きな影響力を持つ。セカンドインパクトの真実を隠蔽するなど、その実力は国家、国連等を凌ぐ。人類補完計画等の計画も、このゼーレのシナリオに則って進行されているらしい。学生時代から、同組織と関係のあったらしい碇ユイは「サードインパクトを起こさない為の組織」であると云ったが、詳細は不明。因みに、ゼーレ（＝Seele）は独語で魂の意味。ゲヒルン（＝Gehirn）やネルフ（＝Nerv）等、ゼーレに関連する組織は皆独語を語源としている。

【エヴァンゲリオン弐号機】



【ケージ】

【ダミーシステム】

パイロットの思考パターンを擬似的に模倣する事で、EVAにシンクロ状態と同調させるシステム。初号機に搭載されていたシステムは、綾波レイの人格を模倣したものだった。第13の使徒戦時、ネルフ司令官碇ゲンドウの命令により、本システムは初めて解放された。ただが、その行為を限定することで、兵器としての汎用性を欠いていたEVAには極めて有益。尚、伍号機以降のEVAシリーズには、渚カヲルの人格を移植したダミープラグが搭載されている

エントリープラグ。ファーストチルドレン＝綾波レイの人格が移植されている。然し、後のデジタル化は不可能な為、同プラグは思考パターンを模倣する「擬似」に過ぎない。だが、模擬者を限定することで、兵器としての汎用性を欠いていたEVAには極めて有益。尚、伍号機以降のEVAシリーズには、渚カヲルの人格を移植したダミープラグが搭載されている

【エヴァンゲリオン弐号機】

【チルドレン】

エヴァンゲリオンの操縦適格者。母親のいない14歳の少年少女に限定される。彼らは、一様にチルドレン（適格者）という名で呼ばれ、各々選出された順番に従い、ファースト、セカンドと識別される。この内、ファースト（綾波レイ）とサード（碇シンジ）のパーソナルパターンは酷似しており、一人の間では機体を交換する実験も行われている。チルドレンの候補者は、第3新東京市第壱中学校に集められており、2Aのクラス全員がその候補となっている。なぜチャイルド（CHILD）の複数形であるチルドレン（CHILDREN）が使われるのかは不明。なお、CHILDには、子供の他、胎児、お腹の中の子、子孫、生み出したもの、ある特殊な環境から生まれ出た人という意味がある。

【特務機関ネルフ】

国連直轄の超法規組織。サードインパクトを未然に防ぐ為、使徒の調査、研究、殲滅を遂行する。然し、実際には人類補完計画の推進を目指すものであった。結成は2010年、人類補完委員会の諮問機関であったゲヒルンから全面移管する形で行われている。使徒迎撃を全図して作られた要塞都市――第3新東京市に在る本部は、汎用人型決戦兵器エヴァンゲリオンを複数保有しており、侮れない軍事力を有している。ネルフの実体については、一般市民は勿論、内部で働く人間も不詳。司令官は碇ゲンドウ、副司令に冬月コウゾウ。指揮、米国にも支部を持つ国際的組織である。因みに、ネルフ（＝Nerv）は地獄で神経を意味する。

【渚カヲル】

人類補完委員会より直接送り込まれたフィフスチルドレン。書類上では、過去の経歴は抹消済、生年月日は西暦2000年9月13日――セカンドインパクト発生と同一であった。然し、その実体は、人間の形をした使徒。フィフスチルドレンとしての実験に参加した後、弐号機を誘導し、槍を奪取、ターミナルドグマに侵入を果たす。然し、直後の碇による槍の投擲により、LCLの海に還った。

【渚カヲル】

動は複数レイの操縦とは異なるもので、単走状態と同期うるものだった。命令可能なのは攻撃開始等の単純なものだけらしい。

【ネルフのマーク】

特務機関ネルフのマークは3つの部分から成り立っている。すなわち、組織名である「NERV」、その下に併記された言葉――「God is in his heaven. All right with the world（神は天に在り、世は全てこともなし）」は、19世紀の詩人ロバート・ブラウニング（Robert Browning）の「Pippa Passes」の一節。そして、紫花菜の葉を象った図版。言うまでもなく紫花菜とは、アダムとイブが身に纏った罪の象徴である。何故、ネルフのマークが、半分に分割された紫花菜を使っているかは不明

【発令所】

【発令所】

ネルフ本部中央作戦室内にある、作戦遂行時のネルフの中枢。その姿は、軍用艦の艦橋をイメージさせるもの。作戦時には、碇ゲンドウ司令、E計画責任者赤木リツコ博士、作戦本部長葛城ミサト一尉、冬月コウゾウ副司令、オペレーター3人のスタッフが集結する。尚、発令所下の二つの副発令所にはMAGIシステムが設えられている。第14の使徒の侵攻により第一発令所は破壊された為、現在は第二発令所を使用中。その構造は第一、第二ともに同一である。

【バルディエル（第13の使徒）】

【バルディエル】

米国より日本へと空輸中だったEVA3号機に侵入した結果の使徒。松代での初期起動実験中に発現し、3号機と同化した。この時、実験指揮官である葛城ミサト三佐（当時）及びE計画責任者赤木リツコ博士が負傷。使徒殲滅の指揮は、ネルフ司令官であるゲンドウ自ら執る事となった。3号機と同化した本使徒は、戦闘において零号機、弐号機を圧倒する能力――伸縮する腕部、怪力、触外の挙動等を見せた他、零号機への侵入も企図した（腕部切断という実験により零号機が奪還される危機は回避された）が、ダミーシステムを起動させた初号機により破壊された。

【光の巨人】

セカンドインパクト発生時に確認された、巨大な人型の物体。第一の使徒、アダムと考えられる。全身が光に包まれており、その実体は不明だが、そのフォルムはエヴァンゲリオンに酷似している。また、胸部分にコアと考えられる黒い円形が見受けられる。

【光の巨人】

【プログレッシブナイフ】

エヴァンゲリオンに標準装備されている近接戦闘用武器。通常は肩部分に格納されており、戦況に応じて排出、使用する。略称はプログナイフ。通常のナイフが高い硬度と鋭利さで対象物

TERMINOLOGY

を切り裂くのとは異なり、プログナイフは高振動粒子で形成された刃により、接触する物質を分子レベルで分離・切断する。弐号機以降の機体にはカッター状の新型――刃が破損しても、後ろの刃を押し出す事で、再度使用が可能となる　が採用された。

【プログレッシブナ

【プラグスーツ】

ＥＶＡのパイロットが着用する専用服。シンクロ率上昇に効果がある。ＥＶＡ搭乗時、パイロットは、同スーツを着用し、インターフェイスヘッドセットを頭部に装着するのが基本。足先から首まで一体成形となっており、ウェットスーツ等に近い構造を持つ。着用直後は、だぶついているが、手首部分にあるスイッチで身体に密着、活動し易い状態となる。手の甲に表示されるハンドモニターで各種情報を取得する事も可能。作戦に応じて、Ｄ型等のタイプもある。

【兵装ビル】

第3新東京市内に林立する、ビルを模したＥＶＡの支援建築物群。その内訳は、迎撃用ロケットランチャー、電源ソケット、武器庫、出撃及び回収ゲートと多様であるが、どれもＥＶＡの補助、広義には使徒撃退という目的に帰結する。兵装ビルが通常のビルと同様の外観を持つのは、兵装ビルの存在を隠蔽する意味から。使徒のみならず、民間人から秘匿する意味も含んでいる。

【ベークライト】

フェノール樹脂の総称。熱、電気の絶縁に使われる。零号機の実験中の暴走時に使用された特殊ベークライトは、熱硬化性樹脂の一種。超速乾性のコンクリートのような性質を持ち、同樹脂に包まれた対象の物理的運動を封じ込める事が可能。加持がネルフ本部へ移送した「最初の人間、アダム」も、特殊ベークライトに包まれていた。

【マトリエル（第9の使徒）】

4本の節足動物の如き脚部を持つ、蜘蛛の様な使徒。本体下面には目の様な紋様が九つ見られるが、視覚とは直接関係していないらしい。なお、中央の紋様は、強力な溶解液を排出する。本使徒は旧熱海方面より上陸　時を同じくして、ネルフ本部を含めた第3新東京市の停電事故が発生した為、さしたる抵抗もなく市内に侵入したが、手動で発進した零、初、弐号機の連携攻撃により撃破された。

【マルドゥック機関】

ＥＶＡのパイロット――チルドレンを選出する為に設けられた、人類補完委員会直属の諮問機関。綾波レイ（ファーストチルドレン）、惣流・アスカ・ラングレー（セカンドチルドレン）、碇シンジ（サードチルドレン）、鈴原トウジ（フォースチルドレン）を選出した。たが、実際には実体を持たないダミー機関で、チルドレン選出はネルフ自身が行なっていた。なお、マルドゥックというのは、バビロニア神話に現われる、50以上もの名を持つ神の名前。マルドゥック機関は、50ならぬ108のダミー会社を使っていた。

【ヤシマ作戦】

第5の使徒ラミエルを要撃する為、ネルフ作戦部長葛城ミサト一尉（当時）により提示された作戦　長射程の加粒子砲と強力なＡＴフィールドを持つ同使徒に対し、射程外からの超長距離射撃でコア狙撃を企図したもの。ＡＴフィールドを中和せずに貫く為、戦略自衛隊技術研究所から試作自走陽電子砲を徴用、日本中の電力を集積させた砲撃で使徒撃破に成功した。因みに、同作戦は、文治元年（1185）の「屋島の戦い」で、那須与一が馬上から、船上の扇を弓で射貫いた伝説に由来する。日本中の電力を集めた作戦という事で「八洲作戦」（古代、日本は八洲と呼称された　という意味もさまれている

【ラミエル（第5の使徒）】

正八面体の形状の使徒　強力なＡＴフィールドによって支えられており、その内部はディラックの海（Dirac's Ocean）と呼ばれる虚数空間、別の宇宙に繋がっている。使徒発見の報に迎撃に向かったネルフは当初、上空に浮かんだ「影」を使徒本体として作戦を展開し、初号機を使徒内に取込まれると云う憂き目を見たネルフは作戦担当者を葛城一尉（当時）から、赤木リツコ博士に変更、強制サルベージ計画を実行するが、作戦実行直前に初号機は自ら使徒の「影」を剪き出。この時の損傷により、同使徒は破砕された。

【ロンギヌスの槍】

ターミナルドグマ奥、リリスの胸部に突き刺さっていた巨大な螺旋状の槍。リリスによる補完には必要不可欠な存在。元々は南極に在ったようだ。その先端は二股に分れているが、投擲されると一つに収束し対象を貫く。実戦での使用は、第15の使徒戦に於いて。衛星軌道上から攻撃を行う使徒を撃墜する為、ネルフ司令官碇ゲントウが使用を指示した。零号機によって投擲された槍は、使徒を撃墜、直進し、月へと到達。回収不能となった。因みに、ロンギヌスとは、十字架に磔となったイエスを、槍で突き刺した兵士の名である。

【ロンギヌスの槍】

【エヴァ・ゲ　オン零号機】

【リリス】

【リリス】

ネルフ本部の地下で、赤い十字架に磔にされていた巨人。その形状は人間に近似しているが、上半身だけで下半身が見当たらない。失われたのか、元々存在しないのかは不明。腹部には無数の球状組織があり、そこから人間の下半身らしきものが複数生えている　顔はセーレの紋章が描かれた仮面で隠われ、手は十字架に杭で打ち付けられていた。ゼーレによれば、人類の補完は、このリリスによって行われる予定であったらしく、リリスの分身がＥＶＡ初号機であるとも云う　因みに、ラヒの脱教文書には、リリス（リリト）はアダムの最初の妻と記述されており、アダムとリリスの間には悪魔、精霊が生まれたとも伝えられる。

【リリン】

者カヲルが人類を指して云った呼称。伝承によれば、アダムか最初の妻リリスとの間に儲けた子供――悪魔たちに名付けられた名前。リル＝インの別称。新生児を襲ったり、睡眠中の男性を誘惑し、夢精させるとも云われる。

【零号機（EVA-00 PROTO TYPE）】

世界で初めて開発・建造されたエヴァンゲリオン。ＥＶＡに関する実験やデータ収集等は、ほぼ、この零号機によって行われており、実験機・原型機としての色合いが濃い。実戦を想定していなかった為か、初号機以降のＥＶＡに比べ、胸部等が簡略化されており、各種装備にも非対応であった。対第5の使徒戦に於いて実戦投入されたが、同戦闘で大破。後に改装され、第9の使徒戦で再投入された。専属パイロットは、ファーストチルドレン＝綾波レイ。カラーリングはイエローだったが、改装後、ブルーに変更された。第16の使徒との戦いで損壊。

【レリエル（第12の使徒）】

突如、第3新東京市内に出現した、錯線した実像と虚像を持つ使徒。中空に浮かんだ球体は実像を持たない「影」――幻影に過ぎず、実体はその下に広がる影の方である。この厚さ約3ナノメートルの極薄の空間は、内向きのＡＴフィールドによって支えられており、その内部はディラックの海（Dirac's Ocean）と呼ばれる虚数空間、別の宇宙に繋がっている。使徒発見の報に迎撃に向かったネルフは当初、上空に浮かんだ「影」を使徒本体として作戦を展開し、初号機を使徒内に取込まれると云う憂き目を見たネルフは作戦担当者を葛城一尉（当時）から、赤木リツコ博士に変更、強制サルベージ計画を実行するが、作戦実行直前に初号機は自ら使徒の「影」を剪き出。この時の損傷により、同使徒は破砕された。

【量産型エヴァンゲリオン】

ネルフ本部以外で建造が進められていたＥＶＡ、伍号機から拾参号機までの9体が完成しており、その指揮権はゼーレに在る。これらの機体は、全て同色、同形で、ダミープラグによって起動される。同プラグは、ＫＡＷＯＲＵの名を持ち、フィフスチルドレン＝者カヲルの人格を移植されているようだ。Ｓ²機関を搭載している為、アンビリカルケーブルは不要。背面に格納可能な翼を持ち、平板な槍で武装している。カラーリングはホワイト。

一九九九年

京都大学の教員、冬月コウゾウは、同大学の学生、碇ユイと出会う。

六分儀ゲンドウ、身元引き猪人として面識のない冬月を呼び出す。冬月の第一印象は「いやな男」だった。

同年秋、冬月はユイから、ゲンドウと付き合っている事を知らされる。ユイは、ゲンドウの事を「かわいい人」と云った。

二〇〇〇年

9月13日。人類は発祥以来最大の災厄に見舞われた――セカンドインパクトの発生である。氷の大陸は瞬時に溶解、上昇した水位が人に塗れた地表を洗い流し、ねじ曲がった地軸が、生態系を激変させた。更に、自ら内戦を引き起こした人類は、総人口の半数を死に至らしめる。それは、黙示録さながらの光景であった。

時を同じくして南極を訪れていた葛城調査隊は、葛城博士を含め壊滅。唯一の生存者である葛城博士の娘ミサトも同事件のショックから失語症に陥る。だが、同調査隊に参加していたゲンドウは、セカンドインパクト前日に資料と共に南極を離れており、難を逃れている。

二〇〇一年

碇ユイとゲンドウの間に、第1子シンジ誕生。ゲンドウは女が生まれた場合、「レイ」と名付けるつもりだった。

二〇〇二年

セカンドインパクト正式調査の為、ケントウと冬月が南極へ向かう。その途上、冬月はゲンドウから、彼とユイが結婚し子供を儲けた事を知らされる。

セカンドインパクト、光の巨人、ゼーレ――ゲンドウに繋がる糸が、冬月の疑惑を確信へと変える。操作された情報の深奥に、彼は挑み始めた……。

二〇〇三年

冬月は独自の調査で、セカンドインパクトに関する巨大な欺瞞に迫る。その先には、人工進化研究所（ＡＥＬ）所長、碇ゲンドウがいた。同研究所を訪れ、真相の公表を迫る冬月を、ゲンドウは研究所の地下に広がる巨大な空洞――セントラルドグマに案内する。そこには、生体コンピュータの権威・赤木ナオコ博士がおり、自分達の事をゲヒルンと称した。更に、建造中のエヴァ零号機を背景に、ゲンドウは冬月を誘う。「俺と一緒に新たな人類の未来を作らないか」と。熟慮の末、冬月はその誘いに乗った……。

二〇〇四年

箱根・地下第二研究所での実験中、碇ユイ消失。息子シンジの見守る中での事故だった。直後、ゲンドウは失踪――１週間に及ぶ指揮官の不在は、冬月らを深憂させる。空白の時間は模糊として定かでないが、帰還したゲンドウは冬月に「人類補完計画」と「アダム計画」の推奨を告げる。赤木ナオコは後にこう評している

この時を境にゲンドウは変わった、と。

この前後で、ゲンドウはシンジを知人に預ける。以後、シンジは２０１５年まで、父と離れて過ごす事となる。

二〇〇五年

5年の歳月が、ミサトを失語症から（完璧ではないにしろ）立ち直らせていた。彼女は長野県第２新東京市・第２東京大学で二人の知己を得る。一人は赤木リツコ。高名な赤木ナオコ博士の娘、後のＥ計画責任者である。もう一人は、加持リョウジ。父の面影を残す……男だ。ミサトは、加持に心を委ね、程なく同棲を始める。

惣流・アスカ・ラングレー、セカンドチルドレンに選出。同日、かねてから精神崩壊状態にあったアスカの母、惣流・キョウコ・ツェッペリン、縊死。

二〇〇七年

ミサトと加持の別離。原因は、ミサトの心の中にあった。加持は、彼女の父親に似すぎていたのだ。

二〇〇八年

赤木博士により、生体コンピュータＭＡＧＩの基礎理論が完成。ＭＡＧＩの獲得は、ゲンドウの計画の更なる進捗を約すものであった。

大学卒業後、リツコはゲヒルンに入所し、Ｅ計画勤務を拝命。母親と同じ部署である。だが、その事はリツコに苦い真実――母とゲンドウが男と女の関係であった事――を明らかにする。

二〇〇九年

葛城ミサト、ゲヒルンに入所。勤務地はドイツ第３支部。

二〇一〇年

綾波レイ（初代）、ゲヒルンに来所。随伴したゲンドウは、知人の子と説明する。

赤木ナオコ博士の尽力により、ＭＡＧＩ完成。同夜、ナオコはレイから、自分がゲンドウにとって計画実現の為の道具でしかなかった事を知らされる。激情にかられた彼女は、レイを絞殺。自身も発令所から身を躍らせ、落命した。

翌日、ゼーレは、人類補完委員会の調査機関であったゲヒルン解体を決定。同組織は、全計画遂行の為の新組織　特務機関ネルフに移行。ゼーレの計画は新たな段階を迎える。

二〇一一年

碇ユイの８度目の命日。父ゲンドウと共に墓参したシンジは、遺体のない墓から逃奔する。

二〇一四年

綾波レイ（二代目）、第３新東京市第壱中学校に転入。

二〇一五年

碇シンジ、父ゲンドウの呼び出しを受け、第３新東京市を訪れる。同日、15年ぶりの使徒襲来。それは、人類にとって３番目に遭遇する使徒――第３の使徒であった。シンジは、第３新東京市防衛の為、急遽、人造人間エヴァンゲリオン初号機に搭乗、辛くも使徒要撃を果たし、初戦でその才能を示す事となる。

以後も、使徒の侵攻は続発。ネルフ側も、零号機（ファーストチルドレン＝綾波レイ搭乗）、弐号機（セカンドチルドレン＝惣流・アスカ・ラングレー搭乗）を相次いで実戦投入し、対抗する。また、弐号機投入に前後して、ネルフ特殊監査部所属の加持リョウジも来日。「アダム」をネルフ本部へ移送している

米国ネルフ第２支部、消滅。原因は、ＥＶＡ４号機へのS²機関搭載実験中の事故と推察された。この事件に恐怖した米国は、米国第１支部のＥＶＡ３号機の日本空輸を決定。同機のパイロットとして、新たにフォースチルドレン＝鈴原トウジが選出される。しかし、３号機は初期起動実験中に使徒の侵入を許し、エヴァ初号機により使徒として処理される。同作戦後、父の作戦指揮に異を唱える初号機パイロット碇シンジが造反。初号機を私的に専有し恫喝するも、未遂に終わる。サードチルドレンは、一時登録抹消となるが、続く第14の使徒のネルフ本部侵攻に伴い前線に復帰、使徒要撃を果たしている。なお、同戦闘中に暴走状態に陥った初号機は、第14使徒を捕食、S²機関を獲得した。

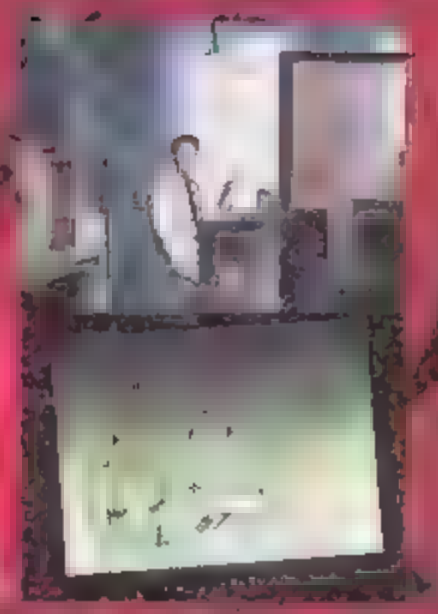
ゼーレの命によりネルフの内偵を進めていた加持、射殺される。

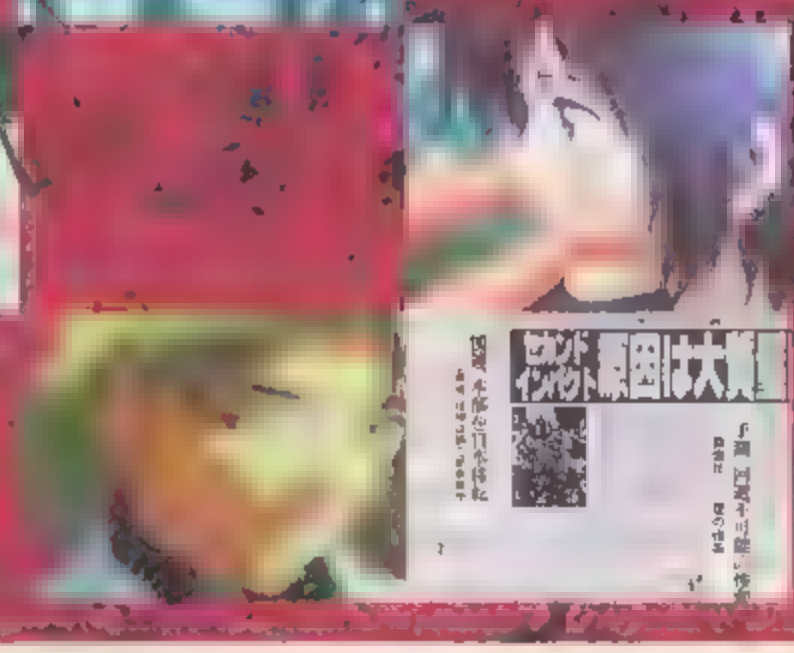
第15の使徒戦に於いて、零号機がロンギヌスの槍を使用。使徒撃墜に成功するが、槍は月へと遠し、回収不能となる。

ＥＶＡ零号機、第16の使徒排撃の為、自爆。同機に搭乗していた綾波レイ（二代目）も斃死。綾波レイ（三代目）活動状態となる。

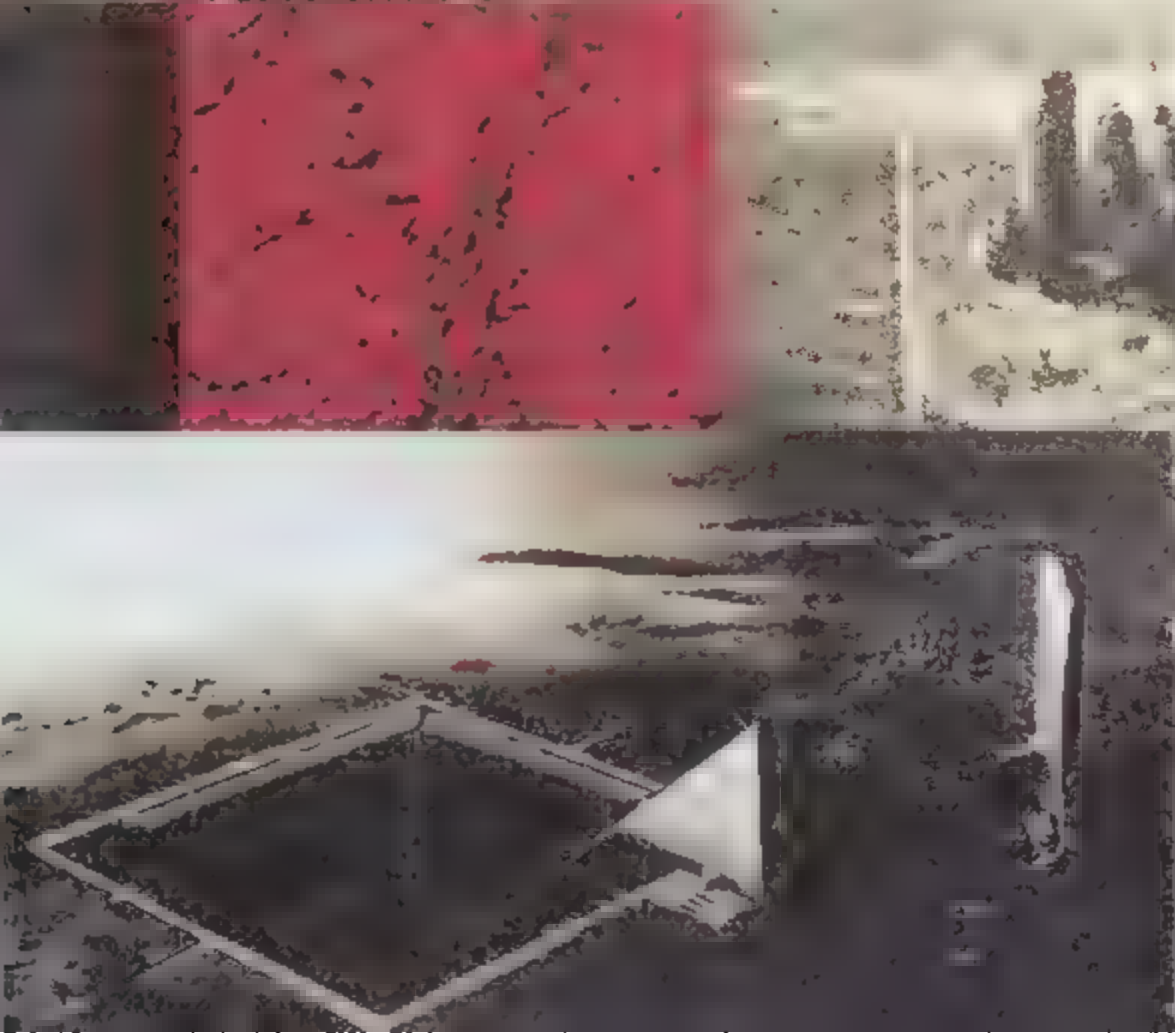
Ｅ計画責任者赤木リツコ、変節。稼働中のものを除き、綾波レイを全て破壊する。真因は司令官、碇ゲンドウとの愛憎の縺れ。

アスカ脱走。程なく保護されるも、既にＥＶＡに搭乗できる状態ではなかった。そのアスカに代わるパイロットとして、フィフスチルドレン＝渚カヲルが人類補完委員会より到着する。だが、その正体は人型の使徒。カヲルは、ターミナルドグマへの侵入を果たすが、危惧されたサードインパクトは発生せず。追撃する初号機により扼殺された。





CONTACT
10



RABBITS

Illustration by Shinya Hasegawa

EVANGELION:REBIRTH

EVANGELION:REBIRTH

被我兵力差1対5

使徒が来た。

使徒の名は、渚カヲル

シンジに初めて「好き」と云った存在。

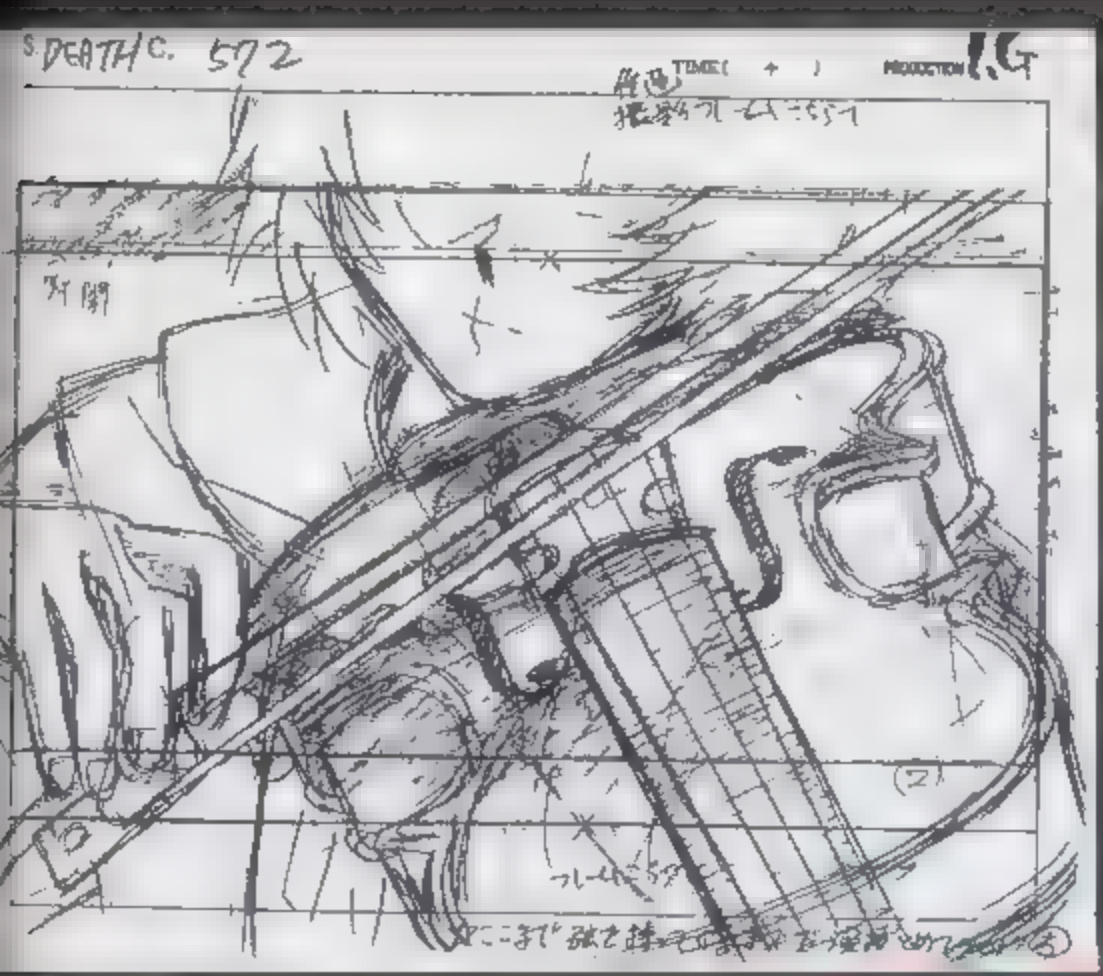
シンジが初めて心を開いた相手だった。

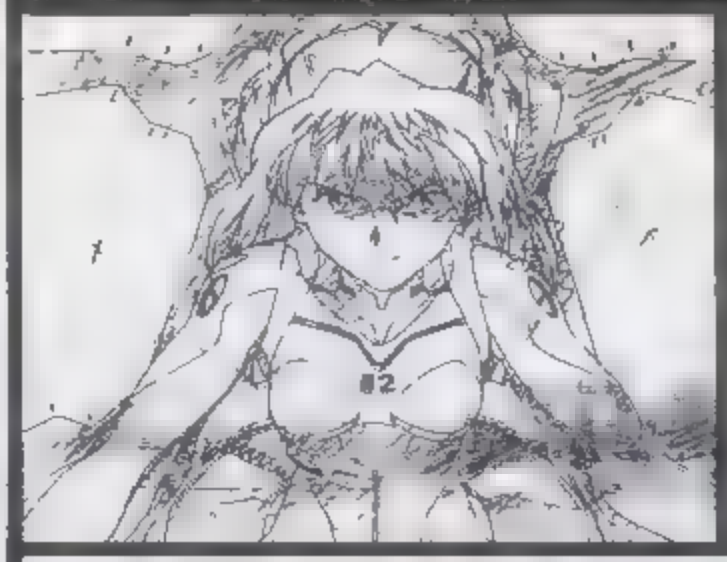
そのカヲルを、自ら殺してしまったシンジは、再び心を閉ざし、アスカにすがった。いつも彼を馬鹿にしていた、活発な少女。だが、プライドを打ち砕かれた彼女は、何も応えてはくれなかった。一方、最後の使徒の死は、ゼーレにとってシナリオの完成を意味していた。できそこないの群体であるヒトを、完全な単体としての生物に人工進化させる——それが、人類補完計画の真実であり、サードインパクトと同義でもあった。約束の時を迎え、ゼーレは各国のMAGIタイプを動員、ネルフのオリジナルMAGIに干渉する。目標はMAGI接収による、ネルフ本部の占拠だ。対するネルフは、赤木リツコ博士を現場に復帰させる。ゲンドウに捨てられた彼女か、またネルフに協力する事が、ミサトには不思議でならなかった。兎も角も、リツコの復帰で、MAGIは占拠の危機を脱する。だが、それは前哨戦に過ぎなかった。ゼーレは続いて、戦略自衛隊を投入、エヴァ2体の直接占拠を図る。銃声と悲鳴。血と硝煙の匂い。人類の砦とも称された第3新東京市は、一転、ヒトとヒトが争う、戦場と化した。しかし、軍隊——プロフェッショナルな殺戮者の実力は、ネルフのそれを陵駕していた。続々と投入される敵兵力。次々と倒れるネルフ職員。突破される隔壁。発令所に入る報告は絶望的なものばかりだった。ミサトは、アスカを弐号機に乗せ、自らシンジを探しに行く逆転の目は、シンジの初号機が、残る9体のエヴァシリーズを全て破壊することだけ。それが、生き残る唯一の手段なのだ。一方、ゲンドウは冬月に後を託し、ターミナルドグマに向かう。同行者は綾波レイ。絶望的な状況下でゲンドウは何を狙うのか？ゼーレのシナリオは、何を齎すのか？動かない弐号機の中で、胎児のように体を丸めるアスカに、未来はあるか？MAGIの中で冷たい笑みを浮べるリツコは、何を考える？そして、戦場と化したネルフ本部を駆けるミサトは、はたして間に合うのか？錯綜する戦場の中で、様々な人の意志がぶつかる。それは人類の未来を決定する、評議会にも似ていた。進化と死。停滞と生。真実と虚偽そして……人類が選ぶ未来は？

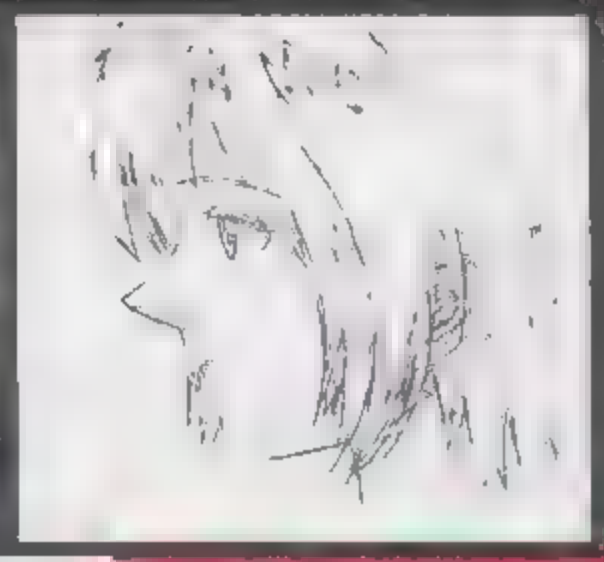
その鍵を握るシンジは、まだ戦場の隅で蹲えている……

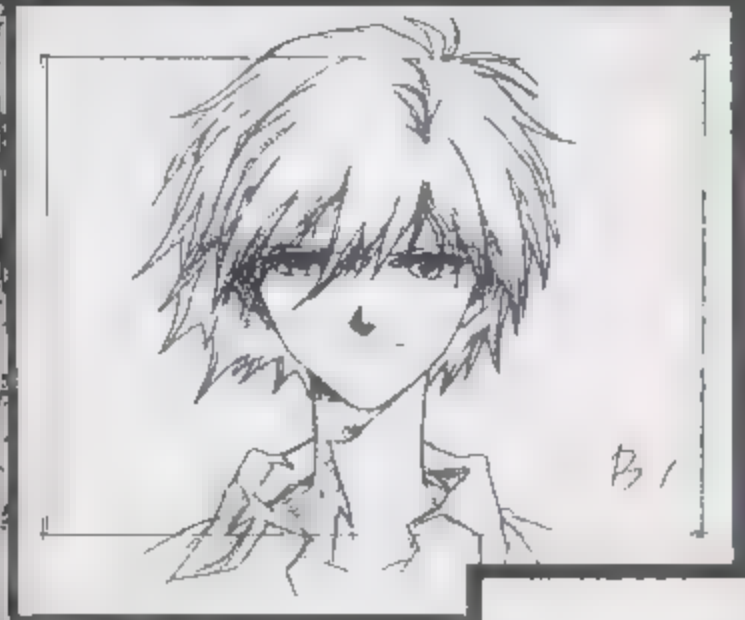
MANIRA

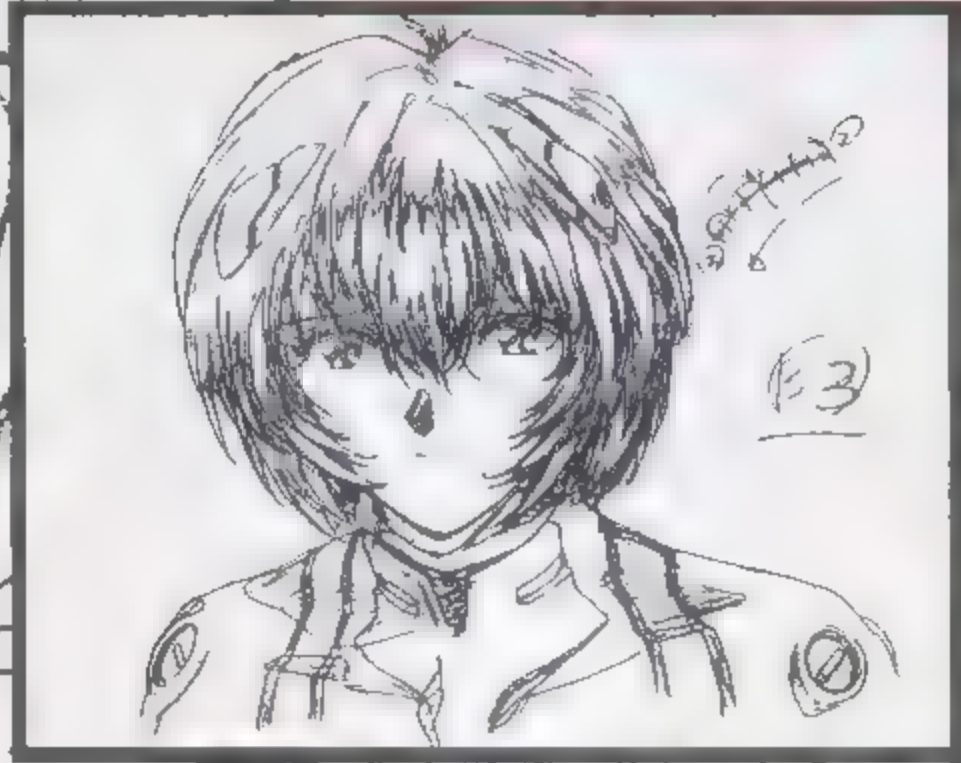
PRODUCTION DEATH NOTE

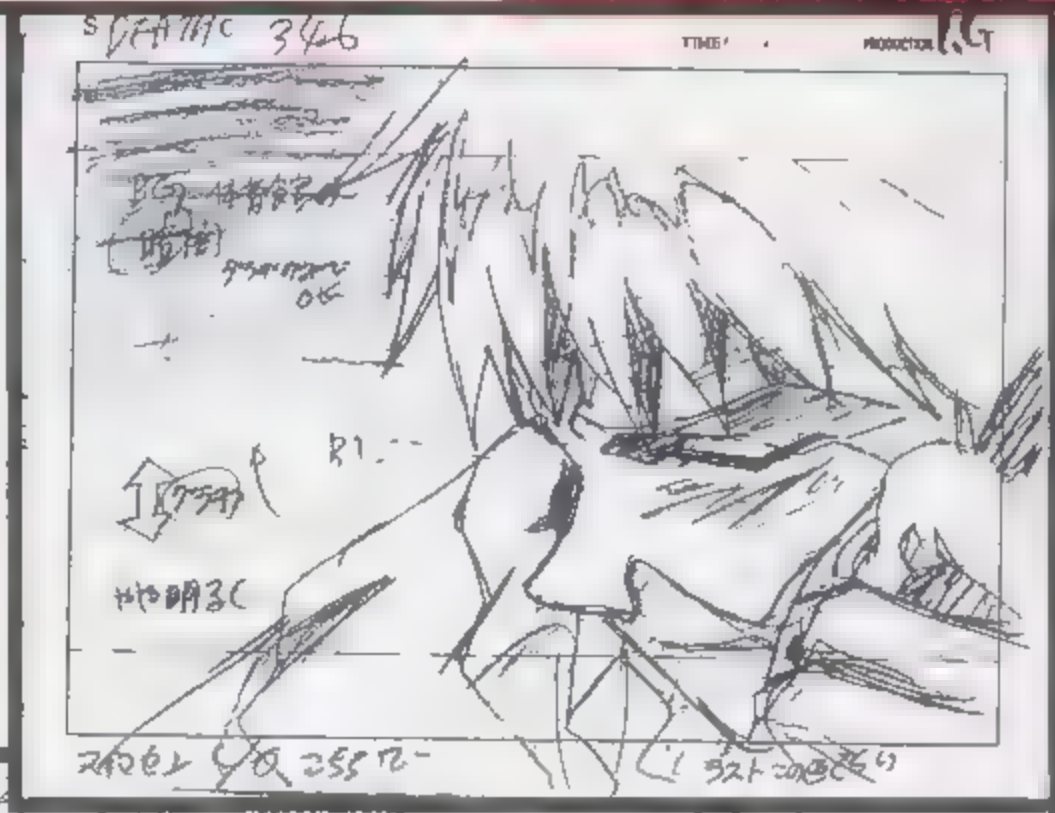


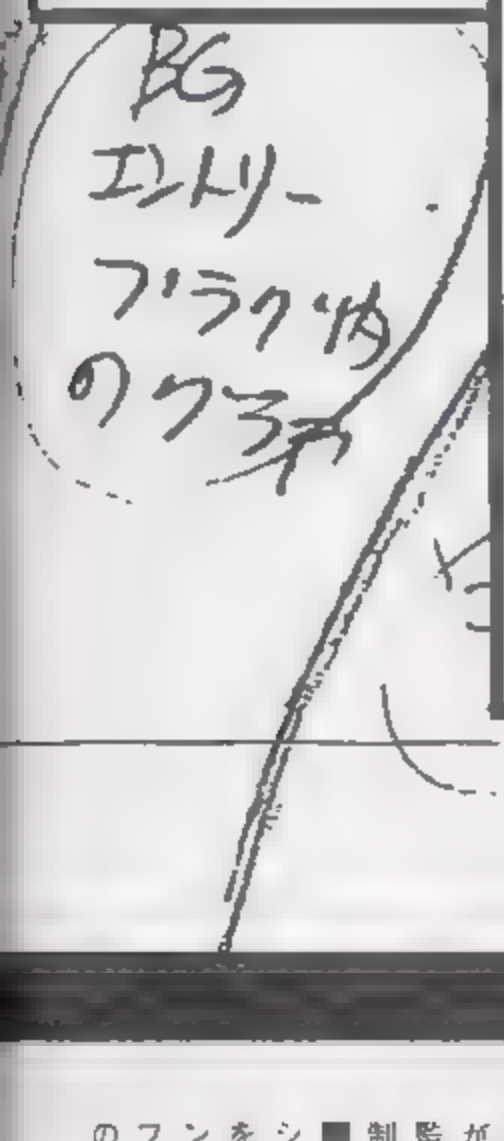


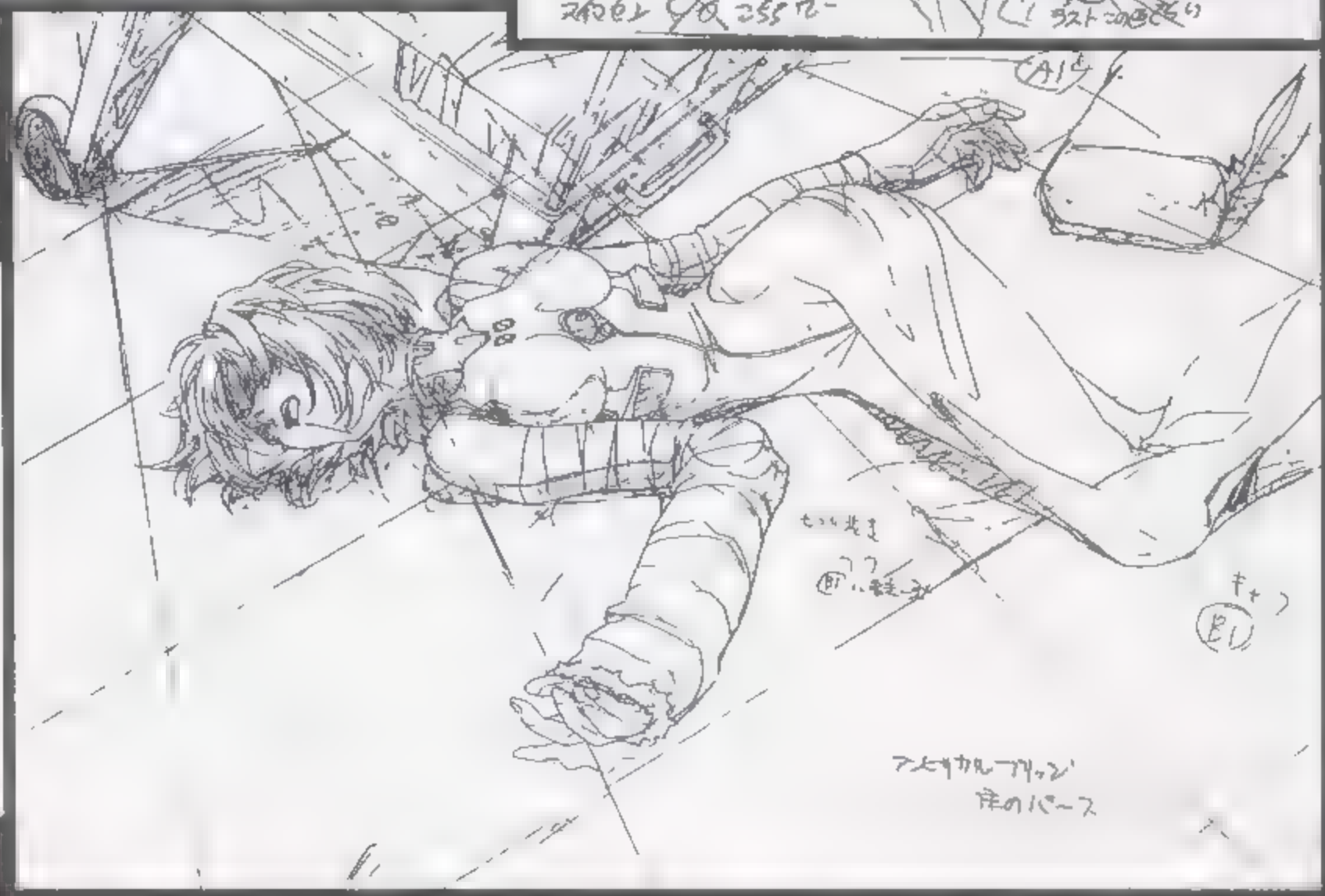






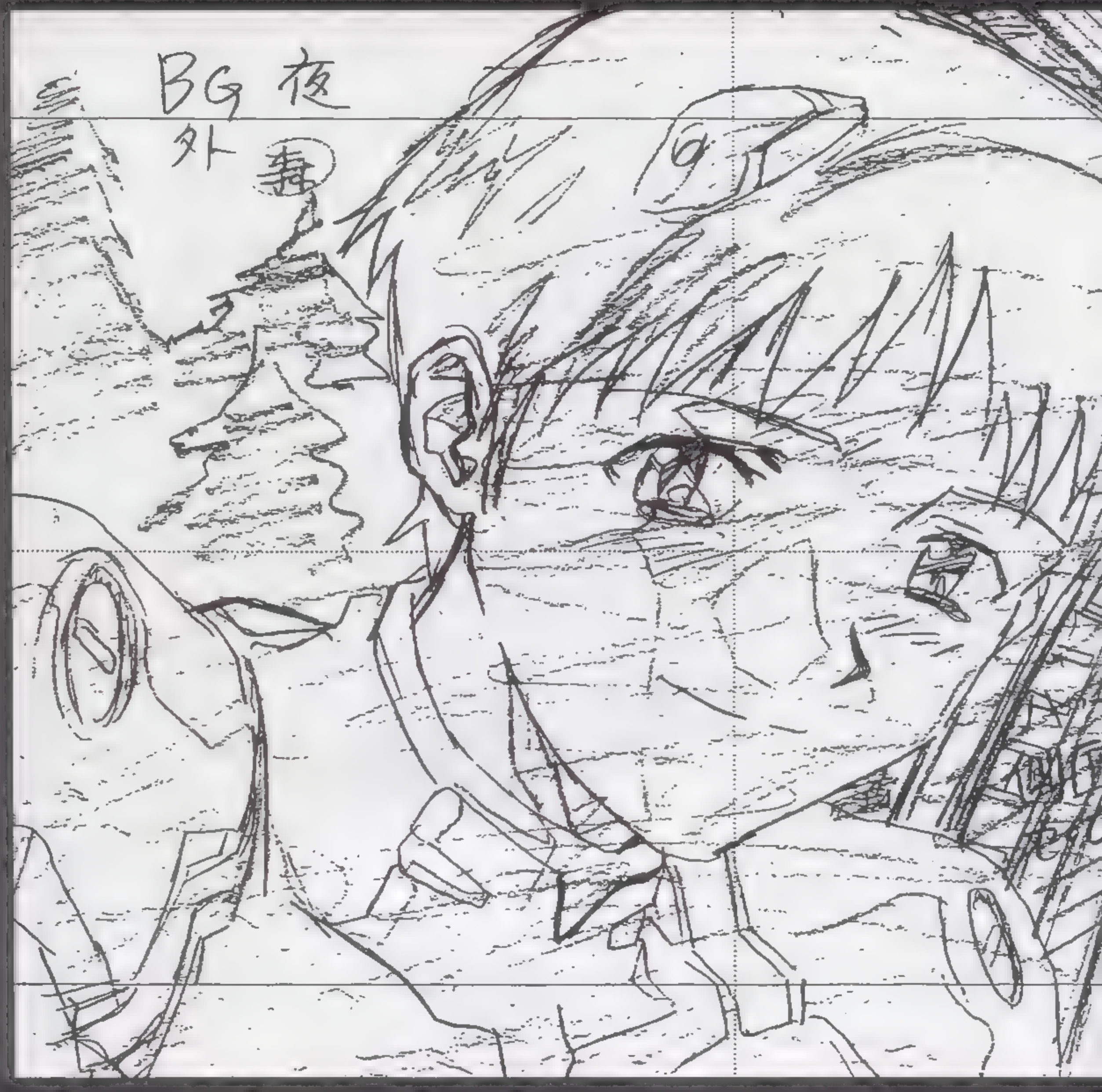






■『DEATH』は、TVシリーズ『エヴァンゲリオン』の再編集に、新作を加え再構成した作品である。『DEATH』の作業は、庵野監督の監修の下で、脚本家の薩川昭夫が構成を作成。その構成に沿って、庵砂雪監督がカッティングを行うというかたちで制作された。

■使用する話数、場面の選び出しは、勿論、シンジ達とおほしき少年達が体育館で楽器を演奏する一連のイメージシーンも、シーンを単に順番に並べるのではなく、シャッフルした感じに繋げていく事も、薩川昭夫のアイデアである。



■「ＤＥＡＴＨ」で使われた映像は、ＴＶシリーズの以下の話数。第壱話「使徒、襲来」。第弐話「見知らぬ、天井」、第参話「鳴らない、電話」。第四話「雨、逃げ出した後」、第伍話「レイ、心のむこうに」、第六話「決戦、第３新東京市」、第八話「アスカ、来日」、第九話「瞬間、心、重ねて」、第拾話「マグマダイバー」、第拾弐話「奇跡の価値は」、第拾伍話「嘘と沈黙」、第拾八話「命の選択を」、第拾九話「男の戦い」、第弐拾壱話「ネルフ、誕生」、第弐拾弐話「せめて、人間らしく」、第弐拾参話「涙」、第弐拾四話「最後のシ者」。

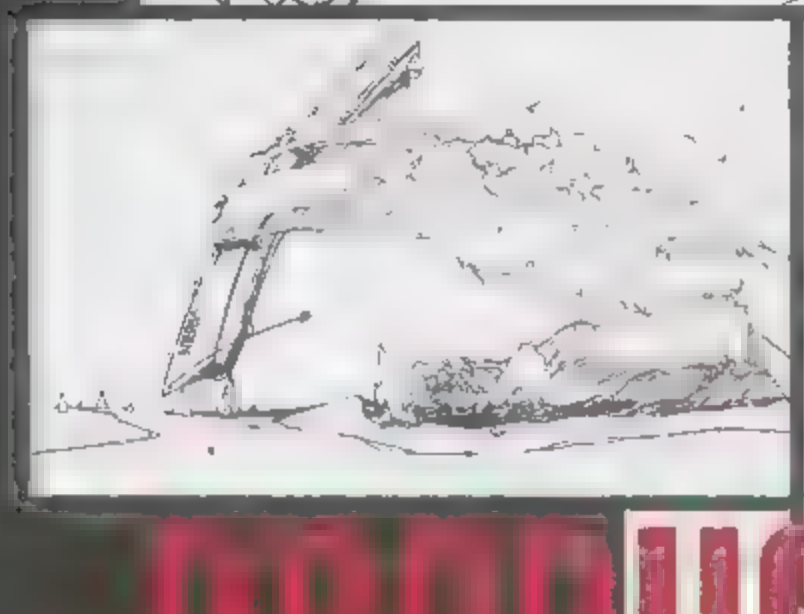
■「ＤＥＡＴＨ」の新作部分はほぼ30分。その内容は、以下の三つのパターンに分ける事が出来る。第一が、少年達が体育館で楽器を演奏する一連のイメージシーン。これは「ＤＥＡＴＨ」のみのオリジナルの映像である。第二が、ＴＶ版の映像のリテイク。第三が、第弐拾弐話から第弐拾四話までの話数に関して、ビデオソフト版で新作として追加される予定のシーンである。

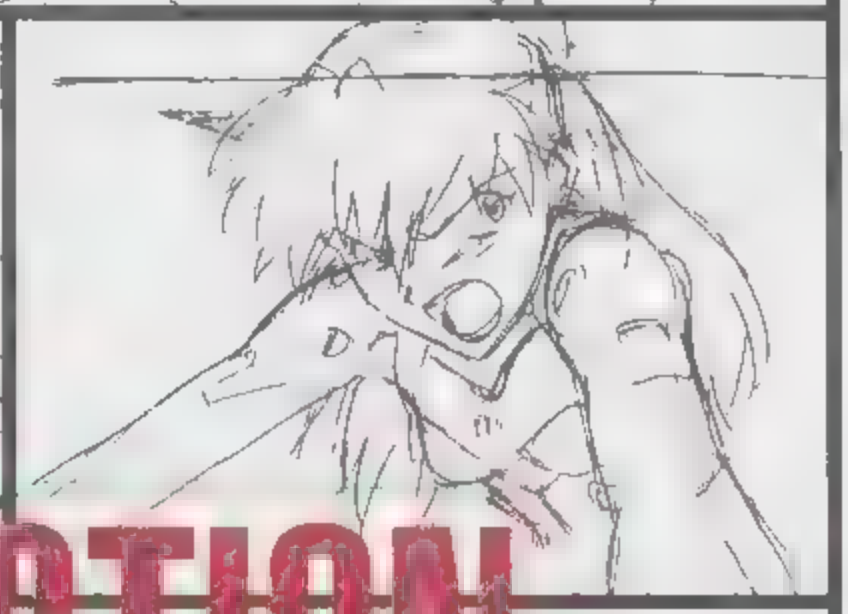
■第二の、ＴＶ版の映像のリテイクは、映像のクオリティを上げるために行われた。作画のやり直しは勿論、背景の描き直し、撮影のやり直しもある。微妙な直しも多い。熱心なファンでも、リテイクと気づかないカットも多い事だろう。

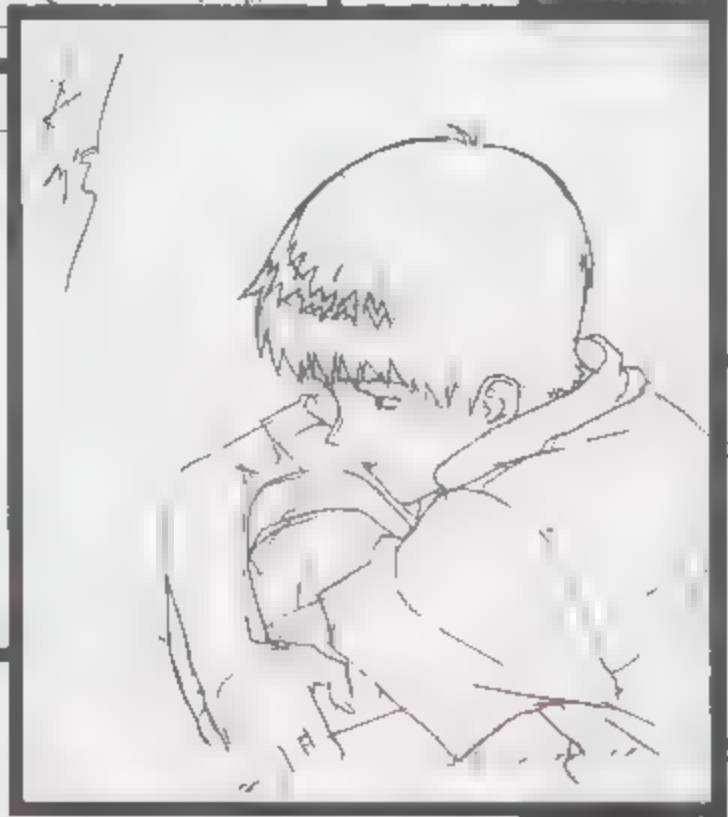
■この頁に掲載したものは全て、ＴＶ版の映像のリテイクのために描かれた原画である。この原画のリテイクの作画監督は、監督である庵野秀明自身が担当。原画のリテイク作業には、総監督の庵野秀明、キャラクターデザインの貞本義行も参加。ちなみに、倒れているレイは貞本義行の手によるもの。

■第二の、第弐拾弐話から第弐拾四話までの話数に関して、ビデオソフト版で新作として追加される予定のシーン。これは、今回の映画版とは別に作業が進められていた。幼いシンジをあやしているユイと、冬月が話をしている場面、浴室でのアスカの独白の場面、シンジ達と会う前の、加持とアスカの会話シーン等。

■「ＤＥＡＴＨ」の声の芝居に関しては、基本的にはＴＶ版の音素材を使用している。前述の体育館のイメージシーン、ビデオソフト版で新作として追加される予定のシーン、編集の都合でセリフが合わなくなったシーンのみが新録音である。







PRODUCTION NOTE

REBIRTH

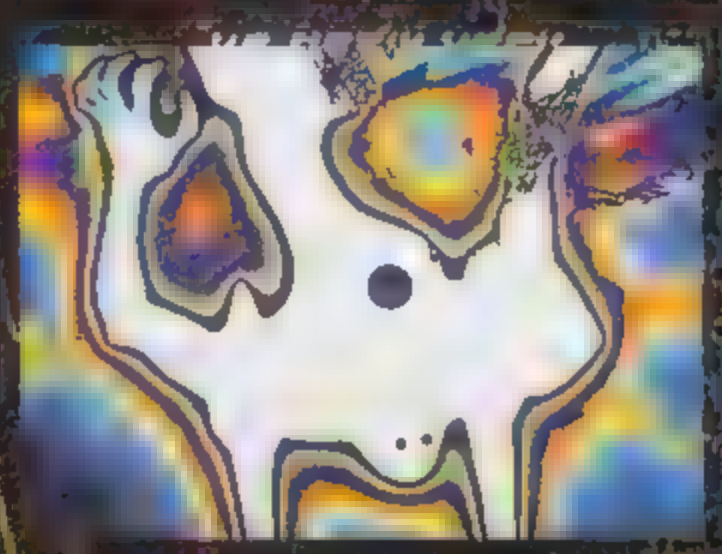
■「REBIRTH」は最初、TV版「エヴァンゲリオン」の第弐拾伍話、最終話のリメイクとして、すなわち、「エヴァンゲリオン」の「完結編」として、制作がスタートとした。だが、制作の過程で、予定よりも遥かに内容が膨んでしまい、2話併せて70分近い長さになる事になってしまった。そのために、まず、第弐拾伍話に当たる前半部分を劇場公開する事になったのである。

■「REBIRTH」の脚本は、総監督の庵野秀明が執筆。その脚本に沿って、監督の鶴巻和哉、同じく摩砂雪が絵コンテを担当。絵コンテ以降の演出も鶴巻和哉が担当している。

■「REBIRTH」では、作画監督が二人立っている。キャラクターの作画監督はPRODUCTION I.Gの黄瀬和哉が担当。メカの作画監督を本田雄が担当。黄瀬和哉は劇場作品「機動警察パトレイバー the Movie2」「攻殻機動隊」等で知られるアニメーター。TVシリーズでも、2度、作画監督を担当している。本田雄はシャープな画風が印象的なGAINAX社内の作画監督だ。

■庵野総監督は「REBIRTH」の絵コンテの作業が終了した後、第弐拾六話に相当する、映画版第2弾の作業に入った。作画に関しても、第弐拾六話用に別班が組まれ、第弐拾伍話と並行して作業が進められている。

■映画版第2弾のタイトルは「THE END OF EVANGELION」に決定した。



Lilith

スタジオ設成
ベガエンタテイメント
スタジオラブ♥ハンター
スタジオマーク
スタジオコクピット
スタジオＪＫ－ＧＨ
撮倉商
ネオ・ユクス
ユニット８８８８

色彩設定
高屋晴美

色指定
高屋晴美
松原澤由佳
佐久間クミ子
箭吹康
志田智将

検査
高屋晴美　[redacted]
和泉澤由佳　志田智将
箭吹康　赤堀久美子

仕上
飯島孝枝　吉田文恵
千葉知子　箭吹康二

手塚プロダクション
マ　サ
スタジオ設成
タツノコカラーセンター
ベガエンタテイメント
スタジオタージ
スタジオファンタジア
撮倉商
トータル
シャフト
トランスアーツ

特殊効果
太田康之
山本　公

Ｊスワーク：
マキ・プロ

ＣＧ制作：
GAINAX　SHOP

美術監督
加藤　浩

背景
スタジオ美峰
市川達也　竹田悠介
太田　大　佐藤　勝
井岩達朗　岡部　敏
近藤康敏　島田志穂
十河　浩　板崎知恵子
小泉哲平　宍井卓爾
小井口義行　船越太郎
梶原芳郎　岩本浩司
吉原俊　郎

本田　修　小杉光男
市谷正人　瀬ノ口徹
森川　徹　高塚美佐
居垣　宏　榊原恵機
和泉礼里　桑名由典
安川ゆかり　下村省
本間　良　黒田智
森川裕美　手島安成
西川増水　吉村敏幸
金子朋子　白石博文
岡本有香　川嶋俊温
長江　剛　岡田真弓

現プロダクション
京都アニメーション
グリーン
アトリエブーカ

撮影監督
黒山洋

撮影
スタジオコスモス
池上元秋　鈴木典子
野口博志　梶島尚久
小野勇　久保禎浄
古澤功　前原勝則
大林哲生　池上伸治

島田隆志　久野利和
狩原奈都紀　久澤昌二

タツノコプロ
横山幸太郎　[redacted]
武原昌志　横山正彦
尾井麻衣子

[redacted]
木幸子

音楽：
鷺巣詩郎

音響監督
田中英行

効果：
野口　透（アニメサウンド）

制[redacted]
小原吉男

ＴＶシリーズ制作デスク：
大石拓道
細川達司

ＴＶシリーズ制作進行：
安藤　健　石川　学
津岡　祐　坂上貴彦
吉田昌央　吉田義樹

ＴＶシリーズプロデューサー
小林敦子
杉山　豊

ＴＶシリーズ制作プロデューサー：
植田もとき
内山秀二
山賀博之

ＴＶシリーズプロデューサー室アシスタント：
[redacted]

ＴＶアニメーション制作
タツノコプロ
GAINAX

ＴＶアニメーション制作協力
PRODUCTION　I.G
ベガエンタテイメント

ＴＶアニメーション製作
テレビ東京
NAS

[redacted]

製作
ＥＶＡ製作委員会
角川書店
Project Eva.
GAINAX
テレビ東京
セガ　エンタープライゼス
東映

配給：
東映

総監督
庵野秀明

監督
庵野秀明

©1997 GAINAX　EVA製作委員会

EVANGELION REBIRTH

製作：
角川歴彦
植田益朗
山賀博之
倉益亜紀

製作補
中山晴喜
高橋　豊

企画・原作
GAINAX

庵野秀明

脚本：
[redacted]

絵コンテ：
[redacted]
摩砂雪
[redacted]

キャラクターデザイン：
貞本義行
［コミック 月刊少年エース連載　角川書店刊］

メカニックデザイン：
山下いくと
[redacted]

エヴァンゲリオンコンセプトデザイン：
山下いくと

エヴァシリーズデザイン：
本田　雄

キャラ作画監督
前田真宏

メカ作画監督：
本田　雄

原画：
平松禎史　後藤隆幸
伊藤浩史　野澤　学
河口俊夫　増尾昭一
村本　靖　岡村天斎
遠藤明吉　佐藤雅将
竹内敦志　今燒　勇
野田武弘　藤原健

野中卓也　大倉雅彦
鶴巻和哉　鶴田香代子
石井明治　谷津美穂子
神田武幸　福岡英典
大江健司　吉川尚彦
今石洋之　吉成　曜

動画チェック
村田康人

動画
PRODUCTION　I.G
南崎竜雅　中林美佳
泉　広代　五十嵐洋美
和田さつき　小倉雅彦
浅野恭司
I.G制作
岡　将之　安達賢一
石崎和彦
GAINAX
高村和宏　佐伯昭志
小野修次
NEREO
朝来寛子　伊藤陽子
藤田竜司　尾立恒吉
堀内伸雄　鯛たえ子
[redacted]
Kプロ
桂成プロ
[redacted]
スタジオシータ
市乃田千恵子　平出幸代

3Dアニメーター：
松本　薫（PRODUCTION　I.G）

2Dデジタルワークス：
[redacted]
神村典子
外山昌平

設定デザイン：
前田真宏
鶴巻和哉
庵野秀明

色彩設定　色指定：
高屋晴美

仕上：
PRODUCTION　I.G
渡辺陽子　荒木早苗
山崎麻衣子　浅野理恵
井上佳津枝　佐藤珠希
加藤玲子　伊藤克子

小島真喜子　小出千代美
横瀬真幸　工藤美和
佐久間未希　中川恵
設楽忍　村瀬智子
津守裕子　金子浅幸
ＮＥＲＥＯ
岡本美津子　河端静子
吉本弘美　許　夏代
池田和代

Ｋプロ
桂成プロ
手塚プロダクション

仕上検査
山下寿生
片山由美子

特殊効果：
太田康之

リスワーク
マキ・プロ
GAINAX　SHOP

美術監督
加藤　浩

背景：
スタジオ美峰
能井　賢　竹田悠介
近藤康敏　岡部　敏
串山達也　井岩達朗
佐藤　勝　島原俊一郎
福崎知恵子　土屋　浩
宍井卓爾　小泉哲平
武藤康市　加藤明則
平沢晃弘　加藤　浩

撮影監督
白井久男

撮影助監督
塩田洋

撮影
スタジオコスモス
池上元秋　前原勝則
大林哲生　野口博志
池上伸治　梶島尚久
島田隆志　久野利和
久保禎浄　古澤功
久澤昌二　半野加南絵
宮田一美

編集
木幸子

編集助手：
中野ちひろ
津留洋子
石山かつみ

音楽
鷺巣詩郎

主題歌「魂のルフラン」
詞　茂川敏子　曲・編　大森俊之
歌唱　高橋洋子

音響監督：
田中英行

声の出演：
緒方恵美
三石琴乃
山口由里子
林原めぐみ
宮村優子
立木文彦
関俊元夢
山寺宏
子安武人
結城比呂
長沢美樹
関　智
岩永哲哉
玄　人
川村万梨阿
水野広
鈴木勝美
長嶝高士
志賀京也

効果
野口　透（アニメサウンド）

録音調整
小原吉男

キャスティング協力：
[redacted]

音響制作：
オーディオ・タナカ

音楽制作
スターチャイルドレコード

音楽制作協力：
テレビ東京ミュージック

ＡＲスタジオ
タバック

ＤＢスタジオ
東京テレビセンター
細家　実
佐竹徹也
森本圭　郎

宣伝：
佐藤裕紀
小出真佐樹
脇坂守一
メイジャー

宣伝協力：
スタジオ雄

現像：
IMAGICA

タイミング
平林弘明
土野芳弘

サブチカ
栗田拓男
秋原光晴

演出助手
大塚雅彦
安藤　健

制作担当
松井正

制作進行
黒澤　直
鈴藤　隆
川又　卓
伊藤正博
杉谷光一

プロデューサー：
石川光久

アニメーション制作：
PRODUCTION　I.G
GAINAX

[redacted]

製作：
ＥＶＡ製作委員会
角川書店
Project Eva.
GAINAX
テレビ東京
セガ・エンタープライゼス
[redacted]

配給：
[redacted]

監督・演出：
[redacted]

総監督
[redacted]

©1997 GAINAX　EVA製作委員会

STAFF LIST

EVANGELION DEATH

製作：
角川歴彦
池口頌夫
山賀博之
倉益亜哉

製作補：
[redacted]
高橋　豊

企画・原作
GAINAX

キャラクターデザイン：
貞本義行
（コミック・月刊少年エース連載　角川書店刊）

メカニックデザイン：
山下いくと
庵野秀明

構成・脚本：
薮川昭夫

脚本：
庵野秀明

絵コンテ：
摩砂雪

作画監督
摩砂雪

貞本義行
庵野秀明

原画：
平松禎史
野田武広
摩砂雪
増尾昭一
中山勝一
今石洋之
貞本義行
庵野秀明

動画チェック：
村田康人

動画：
高村和宏
佐伯昭志
小野修次
市方由千恵子
新井達郎
斎藤浩之
松原　登
太田指見
上　節人
石渡清美
福士真由美
吉郷絵美
古田大輔
藤本陽輔
原　将治
中原久文
江川剛司

GAINAX
PRODUCTION　I.G
OHプロダクション
スタジオガッシュ
スタジオライブ
亜細亜堂
東プロダクション
マーサ

3Dアニメーター：
松本　憲
（PRODUCTION　I.G）

美術監督
加藤　浩

背景：
スタジオ美峰
中田達也
竹田悠介
太田　大
岡部　順

佐藤　勝
井岸達朗
関原芳郎
吉原機一郎
福崎知恵子
土屋　悟
穴井卓朗
小泉壮平
武藤嘉市
[redacted]
平沢晃弘

色彩設定・色指定：
高星晴美

検査：
山下弥生

仕上：
横瀬政幸
牧賀　恵
津守裕子
茂木早苗
飯島理恵
高谷知恵
古川　誠
高山明子
櫻田高祐
鎮家　義
永田佳子
市下弥生
高星晴美

PRODUCTION　I.G
スタジオガッシュ
シマ・スタジオ
APPP
マーサ
F.A.I.

特殊効果
太田恵之

リスワーク：
マキ・プロ
GAINAX　SHOP

撮影監督：
白井久男

撮影助監督：
黒田洋一

撮影
スタジオコスモス
池上元秋
前原勝則
大藤哲生
野口博志
池上伸治
榎坂尚久
島田隆志
久野利和
久松禎浮
古澤功
久澤昌
平野可南絵
河田　美

編集：
三本幸子

編集助手：
中野ちひろ
津留洋子
石田かつみ

録音助手：
千葉大輔
大塚雅彦
安藤　健

音楽：
鷺巣詩郎

音響監督
田中英行

声の出演：
緒方恵美
石琴乃
林原めぐみ
宮村優子
山口由里子

立木文彦
緒川元夢
山寺宏一
関　智一
岩永哲哉
岩男潤子
石田　彰
長沢美樹
緒城比呂
子安武人
麦　人
千井美加
川村万梨阿
水野龍
長嶝高士
鈴木弘美
矢島晶子
関　俊彦
西村知道

効果：
野口　進（アニメサウンド）

録音調整：
小原吉男

キャスティング協力：
好永伸恵

音響制作：
オーディオ・タナカ

音楽制作：
スターチャイルドレコード

音楽制作協力：
テレビ東京ミュージック

ＡＲスタジオ：
タバック

ＤＢスタジオ：
東京テレビセンター
鎌家　実
佐竹謙也
桑本千　郎

現像：
イマジカ

タイミング：
平林弘明
土野芳弘

オプチカル：
柴田益男
成原光明

2Dデジタルワークス：
[redacted]

楽曲テロップアドヴァイザー：
平松禎史

楽器設定協力：
中尾知美

宣伝：
佐藤裕紀
小出真佐樹
鵜飼守一
メイジャー

宣伝協力：
スタジオ雄

制作担当
飯部久明

制作進行：
早崎博文
伊藤雅博
羽又　卓

摩砂雪
鎌巻和義

脚本
薮川昭夫
福士真由
山口　宏
關　光雄
増田真嗣
庵野秀明

絵コンテ
摩砂雪
鎌巻和義
貞日分
増田真嗣
岡村大斎
石堂宏之
加賀ソヨン
オグロアキラ
杉山慶
庵野秀明

演出
鎌巻和義
石堂宏之
加賀ソヨン
杉山慶
水島精二
横遠哲治
大塚雅彦
安藤　健
岡村大斎
羽生尚清
大原　実
摩砂雪
高村　都
増尾昭一
庵野秀明

演出助手：
大塚雅彦
安藤　健

作画監督
原　恵一
本田　雄
福井信宏
重田　智
長谷川眞也
鎌巻和義
貞日分
増田真嗣
岡村大斎
石堂宏之
加賀ソヨン
杉山慶
水島精二
横遠哲治
大塚雅彦
安藤　健
岡村大斎
羽生尚清
大原　実
摩砂雪
高村　都
増尾昭一
庵野秀明

メカ作監
吉成　曜

作監補
中山勝一
古川尚隆

レイアウト監修：
貞本義行

設定補：
あさりよしとお
きお誠児
今掛　勇
鎌巻和義
夢野れい
増田真家
ラギミツム
本田　雄
鈴木俊二
關　光雄
貴瀬和義
摩砂雪

原画：
青木真理子　青木康浩
青鉢芳信　安藤真裕
庵野秀明　飯川広義
鎌村武志　池原百合子
關　光雄　伊藤広治
伊藤彩治　伊東伸高
井上博之　今掛　勇
大江健司　岩淵哲治
江口寿志　大川弘治
大久保宏　鎌瀬正明
小野　学　大谷敦子
小野田和由　小野隆史
岡村大斎　小倉陽利
貴瀬和義　貴田　愛
下倉　元　神戸洋行
陣村靖宏　川下裕司
田原智弘　川島明子
金山隆史　鶴巻　浩
關　久美　貴野宏紀
木崎文智　久高司郎
国枝賢悟　久保由英
久米　成　倉田美鈴
上原しげき　栗栖　守
黒田和也　黒柳賢治
兼谷郁郎　後藤圭
鈴川　隆　倉田清章
下妻晋作　小西賢一
小出則美　小山慶子
坂本修司　笹木信作
佐々木孝　佐野隆史
沢　九甲　斎藤和雄
重田　智　柴田和紀
柴田和子　鎌下郁雄
須永恵子　須賀十郎
菅井善浩　杉浦幸
鈴木俊　砂田光明
関口雅浩　外山百平
宗根真司　高垣　幸太
高岡希一　高本弘樹
たかはししんや　高橋　学
たかはしひでき　為家宏人
田口広一　田中雄
高村和宏　立山信也
月澤　学　鎌巻和義
東條隆　中山勝一
永島明子　中村　豊
鶴田香代子　名和幸則
西田美鈴子　橋本敏史
橋本浩　花畑まう
春日　香　長谷川眞也
長谷部敦志　福口　泉
福口香里　要浩義行
平松禎史　福岡英典
古田尚隆　古田　誠
藤澤慎幸　福井孝明
星　和伸　細井信宏
本田　雄　摩砂雪
牧　千恵　増尾昭一
松原秀典　松本憲生
宮西多麻子　水村良男
村本　勉　守岡英行
森島鶴子　森本　晃
本渡本浩明　八木九喜
山崎　敦　山田珠美
横山彰利　吉田文美子
吉成　曜　芳尾光明
吉岡由明　鷲尾敏彰
森田丘　渡部　明
渡部丘弘　渡部英雄
谷津美鈴子
ネオックス

動画チェック
村田康人
後藤典子
佐々木智浩
嶋津郁雄
西田美鈴子
山田珠美

動画：
鈴木利史　村田康人
新井自尊　泉　広代
伊佐英朗　今石洋之
小倉雅浩　小野田孝弘
斎崎貴浩　田畑栄朗
下　優子　越後谷豊
久保由英　後藤南海子
藤倉誠　一郎　佐々木智浩
佐藤雅弘　高村和宏
角田恵子　中井理恵子
山口善雄　芳垣祐介
尹晴　澤　渡　秋絵

GAINAX
PRODUCTION　I.G
手塚プロダクション
アニメアール
アニメスポット
OH プロダクション
F.A.I.
エム・アイ
スタジオじゃんぐるじむ
マーサ
スタジオディーン
東プロダクション

プロデューサー：
石川光久

TV CREW

ＴＶシリーズ監督：
庵野秀明

ＴＶシリーズ演出監督：

IMPRINT

編集　スタジオ雄　構成・取材　小黒祐一郎（スタジオ雄）　編集スタッフ　博多正寿　スタジオ雄、小川びい、大河内一樹　編集協力　高橋知子、吉岡隆志
アートディレクション・CGヴィジュアライズ　根津典彦（FACE）　デザイン　中平一史（FACE）　カメラマン　真崎可奈子、家坂時雄　協力　GAINAX

角川書店 極秘情報

最新刊

◎4月上旬発売予定

エヴァンゲリオン・モデルキット・ハンドブック
E計画 ～ HOW TO MAKE EVANGELION ～
本体予価1,200円（税別）

新刊本

◆ニュータイプ100% コレクション
新世紀エヴァンゲリオン
1456円（税別）

◆角川文庫写真集
エヴァンゲリオン・フォトグラフ
『REI』
文／林原めぐみ　監修／GAINAX
440円（税別）

エヴァンゲリオン・フォトグラフ
『ASUKA』
文　宮村優子　監修／GAINAX
440円（税別）

好評既刊本

◆角川コミックスエース
新世紀エヴァンゲリオン 1～3
漫画　貞本義行　原作／GAINAX
各560円

◆ニュータイプフィルムブック
新世紀エヴァンゲリオン フィルムブック1～9
各590円

◆コンプコレクションスペシャル
エヴァンゲリオンRPG NERV白書
1900円

◆単行本コミックス
新世紀エヴァンゲリオン 四コマ全集 850円

◆シナリオ集（富士見書房刊）
新世紀エヴァンゲリオン オリジナルI～III 各980円

◆エヴァンゲリオン・ピクチャーブック
eve 2015年の女神たち
980円

◆エヴァンゲリオン ピクチャーブック
ADAM 2015年の戦士たち
980円

◆富士見トラゴンブック
新世紀エヴァンゲリオンRPG
決戦！第3新東京市
泥　士朗　実験室
560円

角川書店
〒102　東京都千代田区富士見2　13　3
TEL03　3238-8521
郵便　00130　9　95208

『歌はいいね』と、カヲルは言った 文化の極み

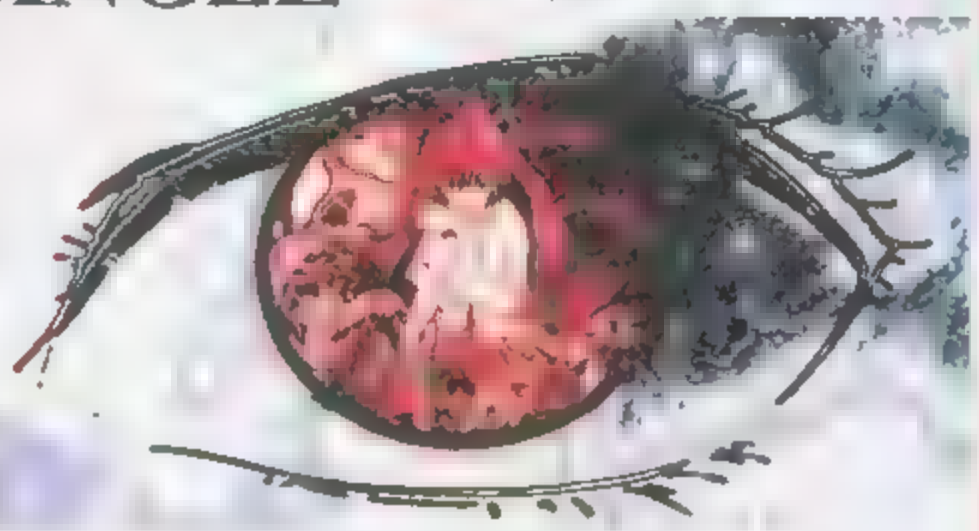
ADDITION
CD　KICA　334　¥1,650（税抜）
NOW ON SALE

CD
"残酷な天使のテーゼ Director's Edit Version" vocals M.SATO
Re：ASUKA のほか M.SATO, ASUKA による "FLY ME TO THE MOON" のカヲル専用脚本によるオリジナルドラマ CD
オリジナル劇場版予告編 ミサト レイ アスカ さらに "交響曲第九番" ヘンデル ヘンデル及び "メサイヤ" ヘンデル よりTV使用曲を特別収録
※このアルバムは映画公開期間中のみ発売される期間限定商品です

テレビシリーズ収録ビデオ・LD
"Genesis 0:1～0:10"
発売中！
トールケース ¥5,148 税抜
LD ¥5,631 税抜
（以下続刊）

LD VIDEO

CD SINGLE



「新世紀エヴァンゲリオン劇場版 シト新生」テーマソング
魂のルフラン 作詩：及川眠子　作・編曲：大森俊之
C/W **心よ原始に戻れ** 作詩　及川眠子　作曲　佐藤英敏　編曲　大森俊之
VOCAL：高橋洋子
CDS　KIDA－146／¥971（税抜）

発売延期のお詫び
映画版第2弾の製作決定に伴い、一部で4月16日と発表されていたサウンドトラックの発売日を延期させて頂きます。
ファンの皆様にはご迷惑をおかけしますが、決定次第、当広告、記事等で発表させて頂きますので、どうぞ宜しくお願い致します。

Distributed by KING RECORDS

©1997 GAINAX・EVA製作委員会

通信販売

以下の商品は3月下旬よりインターネットホームページでもお取扱いいたします
http://www.toei.co.jp/movie/

1 下敷きA 309円

2.下敷きB 309円

3.ノート 257円

4.クリアファイル 360円 A4サイズ

5 シャープペン 618円

6 ノック消しゴム 206円
ノック部 NERVマークス入

7 B2ポスターA 515円

8 B2ポスターB 515円

9 ポストカードセット 412円

10 メタルバック 824円 2 1セット

11 ケース 515円

12.クレアマスコット キーホルダー 515円 高さ70mm

13 ラミカード 5枚セット515円

14.NERVターボライター (アルミ缶ケース付) 8,755円

15.円形マウスパット 1,545円

16 ユニセックスTシャツ100% 新世紀エヴァンゲリオン 1500円

17 ステッカー 309円

18.パネル時計 A3サイズ 8,034円 ★

19 スクールカレンダー 1,200円 A3サイズ9枚

20.タペストリー 1,545円 800×900mm

21.NERVオリジナルマグカップ 824円 高さ90mm

22 クロスシートポスター (旗) 2,575円 200×900mm

23 テレカA ケース付1,200円

24 テレカB ケース付1,200円

25 テレカC ケース付1,200円

26 テレカD 1,000円

27 テレカセット6枚組 6,500円

28 キャップ 2,575円

29 ピンズ赤 463円

30 ピンズ紺 463円

31 Tシャツ フリー 2,884円

32 ブルゾン フリーサイズ 10,094円

33 純銀製ペンダント ケース付10,094円

34 NERVピンズセット 4,944円

通販お申し込み方法

ます、ハガキでご注文して下さい。代金は後払いです

●代金は
商品代金 + [荷づくり送料(一律500円)] = [合計金額]となります

商品は数に限りがございます 品切れの際はご了承下さい

お問合わせ先 (株)ムービック通販係
Tel. 03-3972-1150 電話でのご注文はご遠慮下さい

第19の使徒

セガサターン用ソフト
シナリオメイキング アドベンチャー

エヴァンゲリオン・セカンドインプレッション

●豪華制作スタッフ集結
テレビ本編などのスタッフが勢ぞろい 総監督「本編への期待感を表現」

●「山岸マユミ」登場!!
毎月1回 山岸マユミの登場

●オリジナル挿入歌 CD付属
綾波レイ 碇シンジ 惣流・アスカ・ラングレー 山岸マユミ

●ボイス&モーションキャプチャ
エヴァ初登場 リアルなアクション 豪華

●第X話
ゲーム開始 移動 セーブ 新登場 マップなどエヴァの世界を構築

発売中!

リアルモデルシリーズ
新世紀エヴァンゲリオン 1,880円(税別)

2月発売 SOON

▼5月発売
新世紀エヴァンゲリオンコレクション 綾波レイスペシャル

▼6月発売
キーチェーンフィギュア 新世紀エヴァンゲリオン2

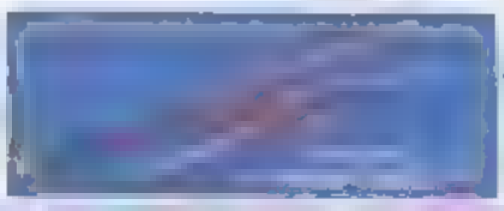
全国アミューズメント施設にて稼動

セガ エンタープライゼス

新世紀 EVANGELION 2nd Impression
希望小売価格 5,800円(税別)

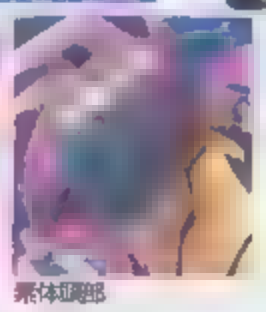
初号機再起動

拘束具をはじめ
商品化希望の多かった武器を
充実装備。



武器セット

エントリープラグ



素体腰部

破シンジ

破ユイ

エヴァンゲリオン初号機が究極装備で再起動！腕部拘束部分が後方にスライドする専用輸送台を始め、TVシリーズ未登場のソード2種など、これまで商品化されていなかった武器やオプションを豊富に付属。本体カラーも深い紫に一新して精悍なフォルムをさらに強調した、エヴァンゲリオン3Dモデルの決定版！

エヴァンゲリオン初号機輸送台仕様
〈LM−HG〉……¥3,500

〈LM-HG〉エヴァンゲリオンシリーズ 各¥2,500

株式会社バンダイ
プラモデル

命の選択を

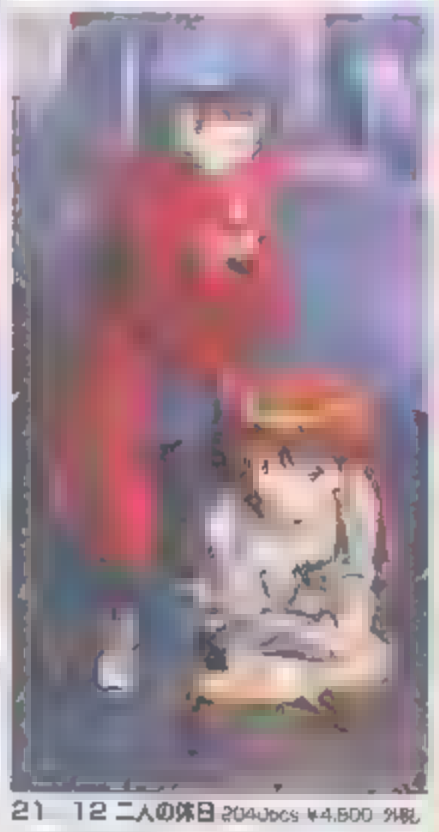
05−627 使徒（エンジェル） 500pcs ¥2,000 外税

03−421 綾（えにし）・少女の場合
300pcs ¥1,400 外税

株式会社 やのまん
アリイヒル
03 3625−1452

NEON GENESIS EVANGELION
JIGSAW PUZZLE
3月17日発売予定

03−420 綾（えにし）・少年の場合
300pcs ¥ 400（外税）

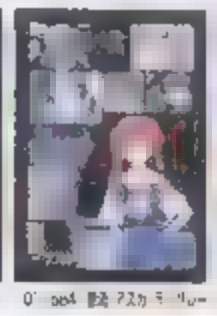


21 12 二人の休日 204pcs ¥4,600 外税

07−342 格納庫（ケイジ）
750pcs ¥2,500 外税

01−582 綾シンジ

01−583 綾ユイ



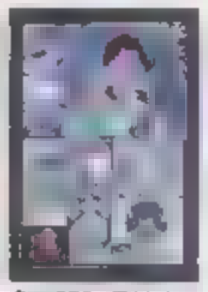
01−584 綾ユカリ＆リョウ

01−585 渚カヲル

01−586 葛城ミサト

01−587 赤木リツコ

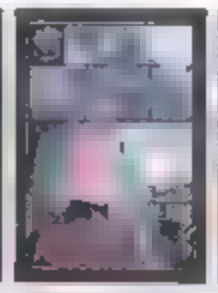
01−588 伊吹マヤ



01−589 青木ヒカル

01−590 夜ゲンドウ

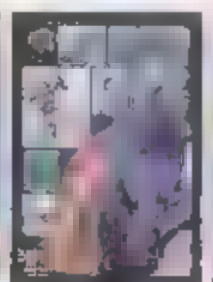
01−591 加持リョウジ



01−592 冬月コウゾウ

01−593 綾ユイ&碇シンジ

01−594 EVA初号機



01−595 EVA零号機

01−596 EVA弐号機

両面作戦展開

もう一度見たい場面をLDでチェック
より深い理解、より深い感動へ

魅力あるソフトが続々とLDで登場。迫力ある場面をリアルに再現するLDプレーヤー。

映画ファンに、この1台。
シナリオディスク、トリックプレイも楽しめる
多機能両面再生プレーヤー。

CLD－R6G
標準価格72,000円(税別)
ジョグ&シャトルダイヤル付リモコン付属

高画質を追求したD.V.P.システム、3ラインデジタルY/C分離回路。
多彩なトリックプレイを可能にする、高画質8bitデジタルメモリー搭載。
新世代の立体音響システム、ドルビーデジタル(AC-3)対応RF出力端子装備。

次世代デジタルシアター、開幕。
ドルビーデジタル(AC-3)対応、
ファインワイド機能が魅力の両面再生プレーヤー。

CLD－R5 標準価格49,800円(税別)
リモコン付属

高画質追求のためのテクノロジー。D.V.P.システム、3ラインデジタルY/C分離回路。
ハイスピード両面再生を実現した、ε(イプシロン)ターンメカ搭載。
新世代の立体音響システム、ドルビーデジタル(AC-3)対応RF出力端子装備。

PIONEER

補完計画進行中
エヴァの総てを、補完せよ。

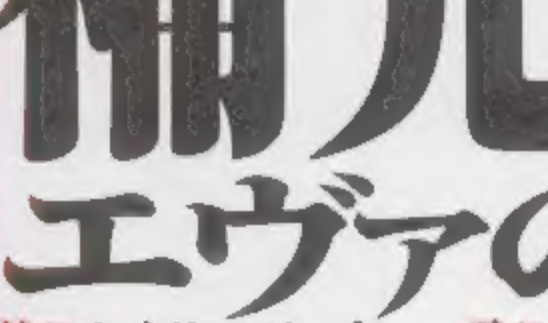
©GAINAX/Project Eva.・テレビ東京・NAS
©1997 GAINAX/EVA製作委員会

カードダスマスターズ
新世紀エヴァンゲリオン第弐集
1パック
10枚入り
259円(税抜き)
発売中
全172種うちSPカード8種。
SPカードは8パックに1枚の割合で入っています。

オフィシャルバインダ
新世紀エヴァンゲリオン
1,800円(税抜き)
発売中
カードダスマスターズ新世紀エヴァンゲリオン専用バインダ。
ナインポケット10枚付き。
特典として綾波レイのカード1枚付き。

TV版エヴァの名場面と魅力のイラストを濃密に収録!

このバインダに君のコレクションを補完せよ!



GASHAPON HGシリーズ

HGシリーズ
新世紀エヴァンゲリオン
第弐弾 彩色済みフィギュア 全6種
200円
全国のカプセル自販機にて発売

カードダス
新世紀エヴァンゲリオン
第弐弾
1枚各20円もしくは
5枚1セット100円(税込み)
好評発売中
全国のカードダス自販機にて販売

全64点オールカードダスオリジナル描き起こしイラスト。
「リバースプリズムカード」を初投入!

綾波レイ

セカンドアスカ

碇シンジ

発売元: 株式会社セガ・エンタープライゼス
製造元: 株式会社バンダイ

※お問い合わせは
バンダイ ベンダー事業部 03-3847-5103まで

MANTRA

エヴァンゲリオン×庵野秀明

庵野秀明

光の雫

AT WORK

作業中

LOST

Third Impact

A-801

「無名」

S#111 ゼーレの会議

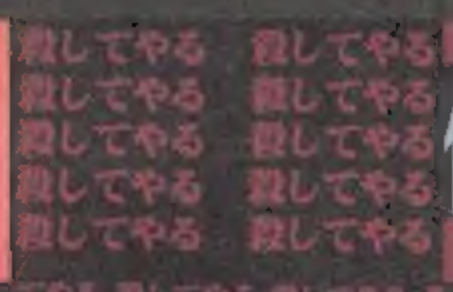
AT WORK

作業中

Episode:26
C'123/128

MAHIRA

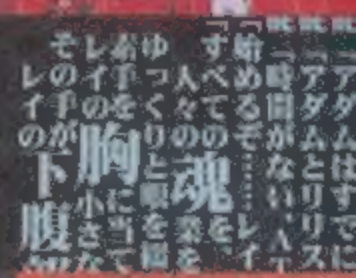
AT WORK
作業中


殺してやる

AT WORK
作業中

周囲が全て、光に変わり吹き飛ばされて行く。

ただし、前には時は生まれていない


「アダムはすでに
「アダムとリリス
「時間がない、人下
「始めるぞ……レイ
「すべての
人々の
魂
を、
素を
ゆっくりと
と眼を閉
右手を
レイの手のを
そのレイの手が
胸に当て
小さな
下腹

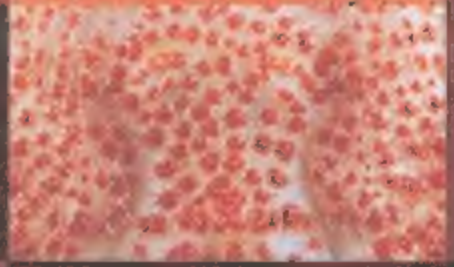
ING

AT WORK
作業中

光の

1996/12/30
未定
UNFINISHED

中断


周囲が全て、光に変わり吹き飛ばされて行く。

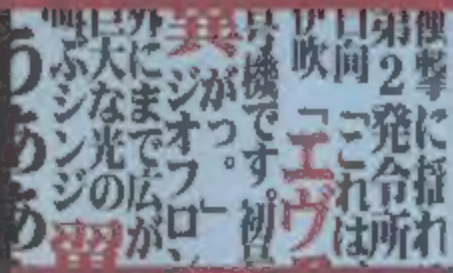
周囲が全て、光に変わり吹き飛ばされて行く。

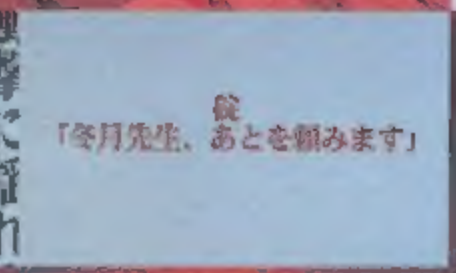
襲に揺れ
第2発令所
日向「これは
伊吹「エヴァ
異
ジオフロント
外にまで広がっ
巨大な光の
叫ぶシンジ
「うあ

「冬月先生、あとを頼みます」

1997/1/08
保留
Episode:26
C#123/128
AT WORK
作業中
Episode:25/C#:122
1997.1/25 GAINAX

1996/12/30
未定
UNFINISHED


S2機関
長い影を落とし、
地表に刺さっている、
ロンギヌスの槍。


ING

自分の男
「裂った人知の生命の源、リリ

新世紀
エヴァンゲリオン
劇場版
シト新生

中断

レイ「思いの下」
シンジ「そうさ」
シンジ「前には、思い思いしかなかった」
シンジ「ヒトをけっ広い出した、ネアを計も
シンジ「ミサトさんもそんだん、アスカも
シンジ「もういやだよ、こんなこと、エヴァ
シンジ「結局、みんなの考えただけじゃないか
シンジ「何が、人だ、どこへいっても分とり
シンジ「何が「ぜっぱの前は、いらない人
レイ「そう、わかったわ」
レイ「一人形(ひとがた)

VOLUME
DEATH
EVANGELION
DEATH

徴撃に揺れる
第2発令所
日向「これは
伊吹「エヴァ
異
ジオフロント
外にまで広がっ
巨大な光の
叫ぶシンジ
「うあ

殺してやる
殺してやる

EVANGELION DEATH AND REBIRTH」の予告編。圧倒的な量の情報で構成されている。今夏に公開予定の映画版第2弾の内容についても、すでに、ここで予告されている。

1997年3月15日発行　発行所／東映(株)映像事業部　印刷／三映印刷　©1997 GAINAX/EVA製作委員会　定価 1,000円(消費税込)

MANTRA